

柿田遺跡（道の駅地点）・ほうの木古窯跡

— 市開発事業に伴う発掘調査報告書 —

2014

岐阜県可児市教育委員会

柿田遺跡（道の駅地点）・ほうの木古窯跡

— 市開発事業に伴う発掘調査報告書 —

2014

岐阜県可児市教育委員会

例 言

1. 本書は、岐阜県可児市柿田 416 番 1 外における柿田遺跡（道の駅地点）（21214-08846）、室原 573 番におけるほうの木古窯跡（21214 - 11358）の緊急発掘調査報告書である。
2. 本調査は、柿田遺跡（道の駅地点）は可児市が事業主体となって実施する道の駅建設に伴うものであり、ほうの木古窯跡は溜池の護岸工事に伴うものである。現場作業及び整理作業は、可児市教育委員会がすべて直営で実施した。
調査面積は、柿田遺跡（道の駅地点）が約 735 m²、ほうの木古窯跡が約 138 m²である。
3. 現場及び整理作業の体制は、次のとおりである。

現場作業（平成 21 年度）

| | |
|--------|--|
| 教育長 | 井戸 英彦 |
| 教育部長 | 佐橋 雅喜 |
| 文化振興課長 | 林 良治 |
| 文化財係長 | 今井 博樹 |
| 調査担当者 | 松本 茂生 |
| 調査補助員 | 長江 真和 成尾 孝子 本田 博志 |
| 作業員 | 可児 定夫 五木田 かちこ 遠山 皓一 長沼 信雄 前田 友子 山口 正則 |

整理作業（平成 25 年度）

| | |
|-----------|--------------------------|
| 教育長 | 大杉 一郎（～ 9 月 30 日） |
| | 竈橋 義朗（10 月 1 日～） |
| 教育委員会事務局長 | 竈橋 義朗（～ 9 月 30 日） |
| | 高木 美和（10 月 1 日～） |
| 教育文化財課長 | 長瀬 治義 |
| 文化財係長 | 富賀見 昌昭 |
| 整理担当者 | 長江 真和 |
| 整理作業員 | 河島 博之 高木 保波 本田 博志 吉田 希美江 |

4. 本書の編集と執筆は長江が担当した。遺物の整理は本田・吉田・河島が行い、実測は長江・本田・吉田が、トレースは長江・高木が行った。
5. 遺物の図面及び写真は、口縁部や底部など土器の特徴がわかるものを選別して掲載し、小破片は掲載していない。
6. 本調査にあたり、次の方々にご教示を頂きました。記して、お礼を申し上げます。
（敬称・肩書略、五十音順）
張替 清司 平井 義敏 藤澤 良祐
7. 本書に掲載した出土遺物、図面、写真は、すべて可児市教育委員会（可児郷土歴史館）で保管している。

目 次

例 言

| | |
|-----------------------|----|
| 第1章 柿田遺跡（道の駅地点） | 1 |
| 第1節 地理的・歴史的環境 | 1 |
| 第2節 調査に至る経緯・経過 | 1 |
| 第3節 遺構 | 5 |
| 第4節 遺物 | 6 |
| 第5節 総括 | 6 |
| 第2章 ほうの木古窯跡 | 12 |
| 第1節 地理的・歴史的環境 | 12 |
| 第2節 調査に至る経緯・経過 | 12 |
| 第3節 遺構 | 14 |
| 第4節 遺物 | 14 |
| 第5節 総括 | 17 |
| 報告書抄録 | 49 |

柿田遺跡（道の駅地点）図版目次

| | | |
|----|------------------|----|
| 図1 | 周辺遺跡分布図 | 3 |
| 図2 | 試掘調査区平面図 | 4 |
| 図3 | 試掘調査区東西トレンチ南壁土層図 | 4 |
| 図4 | 柿田遺跡（道の駅地点）平面図 | 7 |
| 図5 | 調査区東壁土層図 | 8 |
| 図6 | 調査区西壁土層図 | 8 |
| 図7 | 調査区南壁土層図 | 9 |
| 図8 | 調査区SD土層図 | 9 |
| 図9 | 柿田遺跡（道の駅地点）出土遺物 | 10 |

表目次

| | | |
|----|---------|----|
| 表1 | 周辺遺跡一覧 | 3 |
| 表2 | 出土遺物観察表 | 11 |

写真図版目次

| | | |
|-----|-----------------|----|
| 図版1 | 柿田遺跡現場写真 | 39 |
| 図版2 | 柿田遺跡現場写真 | 40 |
| 図版3 | 柿田遺跡（道の駅地点）出土遺物 | 41 |

ほうの木古窯跡図版目次

| | | |
|-----|---------------|----|
| 図1 | 周辺遺跡分布図 | 13 |
| 図2 | ほうの木古窯跡平面図 | 19 |
| 図3 | 調査区北壁土層図 | 19 |
| 図4 | B-B' 土層図 | 20 |
| 図5 | C-C' 土層図 | 20 |
| 図6 | D-D' 土層図 | 20 |
| 図7 | E-E' 土層図 | 20 |
| 図8 | ほうの木古窯跡出土遺物 1 | 21 |
| 図9 | ほうの木古窯跡出土遺物 2 | 22 |
| 図10 | ほうの木古窯跡出土遺物 3 | 23 |
| 図11 | ほうの木古窯跡出土遺物 4 | 24 |
| 図12 | ほうの木古窯跡出土遺物 5 | 25 |

| | | |
|-----|----------------|----|
| 図13 | ほうの木古窯跡出土遺物 6 | 26 |
| 図14 | ほうの木古窯跡出土遺物 7 | 27 |
| 図15 | ほうの木古窯跡出土遺物 8 | 28 |
| 図16 | ほうの木古窯跡出土遺物 9 | 29 |
| 図17 | ほうの木古窯跡出土遺物 10 | 30 |

表目次

| | | |
|-----|-----------------|----|
| 表1 | 周辺遺跡一覧 | 13 |
| 表2 | ほうの木古窯跡の編年位置づけ | 18 |
| 表3 | モミガラ痕のない碗計測表 | 31 |
| 表4 | モミガラ痕のある碗計測表 | 31 |
| 表5 | モミガラ痕のない碗高台計測表 | 31 |
| 表6 | モミガラ痕のある碗高台計測表 | 31 |
| 表7 | モミガラ痕のない小皿計測表 | 32 |
| 表8 | モミガラ痕のある小皿計測表 | 32 |
| 表9 | モミガラ痕のない小皿高台計測表 | 32 |
| 表10 | モミガラ痕のある小皿高台計測表 | 32 |
| 表11 | 出土遺物観察表 1 | 33 |
| 表12 | 出土遺物観察表 2 | 34 |
| 表13 | 出土遺物観察表 3 | 35 |
| 表14 | 出土遺物観察表 4 | 36 |
| 表15 | 出土遺物観察表 5 | 37 |
| 表16 | 出土遺物観察表 6 | 38 |

写真図版目次

| | | |
|------|---------------|----|
| 図版4 | ほうの木古窯跡現場写真 | 42 |
| 図版5 | ほうの木古窯跡現場写真 | 43 |
| 図版6 | ほうの木古窯跡出土遺物 1 | 44 |
| 図版7 | ほうの木古窯跡出土遺物 2 | 45 |
| 図版8 | ほうの木古窯跡出土遺物 3 | 46 |
| 図版9 | ほうの木古窯跡出土遺物 4 | 47 |
| 図版10 | ほうの木古窯跡出土遺物 5 | 48 |

第1章 柿田遺跡（道の駅地点）

第1節 地理的・歴史的環境

可児市は、岐阜県中南部、木曾川中流左岸に位置し、東は加茂郡八百津町伊岐津志、南及び西を可児郡御嵩町伏見、北は木曾川を隔て加茂郡八百津町和知と境をなしている。平成17年5月に可児郡兼山町と飛び地合併した。

本遺跡は、可児川により形成された沖積平野上に位置する。周辺には、弥生墳丘墓、古墳、集落遺跡などがみられる。弥生墳丘墓では鉄剣が出土した桐野1号弥生墳丘墓、主体部から銅鏃や管玉が出土した墳墓を有する金ヶ崎遺跡がみられる。古墳時代前期・中期の前方後円墳（後方墳）では前波古墳群（西寺山古墳、野中古墳、長塚古墳）や伏見古墳群（高倉古墳、東寺山1号墳、東寺山2号墳）が所在する。

本遺跡の周辺には、顔戸南遺跡、柿田遺跡という集落遺跡がみられ、岐阜県教育文化財団文化財保護センターが調査を行った。顔戸南遺跡は、古墳時代は水田と集落跡、古代～中世は条里型地割に伴う道路状遺構と水田、集落跡がみつき、溝や自然流路から大量の土器とともに木製品が出土している。柿田遺跡では、弥生時代中期の水田跡や古墳時代から室町時代までの堰や堤防跡、奈良時代の道路遺構、鎌倉時代の館跡、室町時代の条理地割に規制された水田跡などの遺構がみられ、約40万点の土器や約2万点の木製品が出土している。また、可児市教育委員会が、柿田月田遺跡や柿田遺跡馬乗洞地点の調査を行っている。柿田月田遺跡では住居跡はみられなかったが自然流路が検出され、流路内から4世紀後半から5世紀後半の土器器が一定量出土している。馬乗洞地点では、掘立柱建物や護岸施設を伴う流路などが検出され、須恵器や灰釉陶器、山茶碗等が出土している。須恵器の墨書土器の中には、「垣田」とかかれたものもみられた。

第2節 調査に至る経緯・経過

1. 経緯

地域振興施設「道の駅」建設が計画され、事業予定地は柿田遺跡の範囲内の場所であった。事業者と保存について協議したが、現状保存が難しいため、平成21年7月13日付け商第70号で、文化財保護法第94条に基づく書類が提出された。

試掘調査を実施した結果、溝状の遺構を検出したため、試掘調査に続いて本発掘調査を行った。調査面積は約735㎡である。

事務手続きの流れ

- 平成21年7月16日付「埋蔵文化財の通知について」
発信者 可児市長 山田豊 発信先 岐阜県教育委員会教育長 松川禮子
- 平成21年7月24日付「発掘調査終了報告書」
発信者 可児市教育委員会教育長 井戸英彦 発信先 岐阜県教育委員会教育長 松川禮子
- 平成21年7月21日付「埋蔵文化財発掘調査の報告について」
発信者 可児市教育委員会教育長 井戸英彦 発信先 岐阜県教育委員会教育長 松川禮子
- 平成21年7月31日付「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について」

発信者 岐阜県教育委員会教育長 松川禮子 発信先 可児市教育委員会教育長 井戸英彦
・平成 21 年 10 月 16 日付「発掘調査終了報告書」
発信者 可児市教育委員会教育長 井戸英彦 発信先 岐阜県教育委員会教育長 松川禮子

2. 経過

柿田遺跡では平成 11～13 年にかけて、東海環状自動車道可児御嵩インターチェンジ建設の際に、(財)岐阜県文化財保護センターが調査を行っている。また、平成 13 年、14 年、16 年に東海環状自動車道・国道 21 号線バイパスにアクセスする市道建設に伴い、可児市教育委員会が発掘調査を行っている。更に、平成 18 年には、集合住宅建設に伴って、近接する柿田月田遺跡の調査を行っている。

今回は、平成 21 年 7 月 6 日から 7 月 17 日まで試掘調査を行った。

試掘調査の結果は、『可児市市内遺跡発掘調査報告書(平成 19～21 年度)』に収録している。道の駅建物建設予定地内に、東西幅 2.0m、長さ 16.4m、南北幅 2.0m、長さ 19.6m のトレンチを設定した。(図 2)

試掘調査の結果、東西トレンチでは遺構は検出されず、南北トレンチ内では溝状遺構が 2ヶ所で検出されたため、南北トレンチを拡張する形で本発掘調査に移行している。

〈参考文献〉

- 財団法人岐阜県教育文化財団 2005 『柿田遺跡』
- 可児市教育委員会 2009 『柿田遺跡馬乗洞地点』
- 可児市教育委員会 2009 『柿田月田遺跡・清水経塚遺跡』
- 可児市教育委員会 2011 『可児市市内遺跡発掘調査報告書(平成 19～21 年度分)』



図1 周辺遺跡分布図 (S=1/30000)

| | | | |
|---------------|------------|--------------|---------------|
| 1 柿田遺跡(道の駅地点) | 18 前山古墳群 | 35 伏見白山神社古墳 | 52 杉ヶ洞古墳群 |
| 2 桐野1号弥生墳丘墓 | 19 北ヶ洞1号墳 | 36 新発知古墳群 | 53 山田横穴1~7号古墳 |
| 3 山神弥生墳丘墓 | 20 北ヶ洞2号墳 | 37 念ヶヶ平1~2号墳 | 54 東中国古墳 |
| 4 長塚古墳 | 21 杉ヶ洞古墳群 | 38 稲荷山古墳群 | 55 下屋古墳 |
| 5 西寺山古墳 | 22 顔戸山ノ神遺跡 | 39 金ヶ崎遺跡 | 56 白山古墳 |
| 6 野中古墳 | 23 柿田遺跡 | 40 青木横穴墓 | 57 火塚古墳 |
| 7 上野稲荷古墳 | 24 顔戸南遺跡 | 41 坂本天神山古墳 | 58 トヤノ下古墳 |
| 8 桐野2号古墳 | 25 堂根古墳 | 42 坂本古墳群 | 59 小貝戸2号古墳 |
| 9 清水経塚古墳 | 26 東寺山一号古墳 | 43 花塚古墳 | 60 小貝戸1号古墳 |
| 10 檢下古墳 | 27 東寺山二号古墳 | 44 顔戸藤塚古墳 | 61 柿の木塚古墳 |
| 11 七ツ塚古墳 | 28 伏見狐塚古墳群 | 45 庚申塚古墳 | 62 道下古墳 |
| 12 しゃもじ塚古墳 | 29 大塚古墳群 | 46 恵観寺古墳群 | 63 鏡塚古墳 |
| 13 瀬田巢本古墳 | 30 生沢古墳 | 47 諏訪神社古墳 | 64 御妃塚古墳 |
| 14 粘り塚古墳 | 31 狐塚古墳 | 48 打越古墳群 | 65 桃塚古墳 |
| 15 大洞白山塚古墳 | 32 長畑1~2号墳 | 49 比衣丸山古墳 | 66 身隠山御獄古墳 |
| 16 神崎山古墳 | 33 新町墓地古墳 | 50 陣ヶ峰群集墳 | 67 身隠山白山古墳 |
| 17 柿田古墳 | 34 高倉山古墳 | 51 市洞1~6号古墳 | |

表1 周辺遺跡一覧

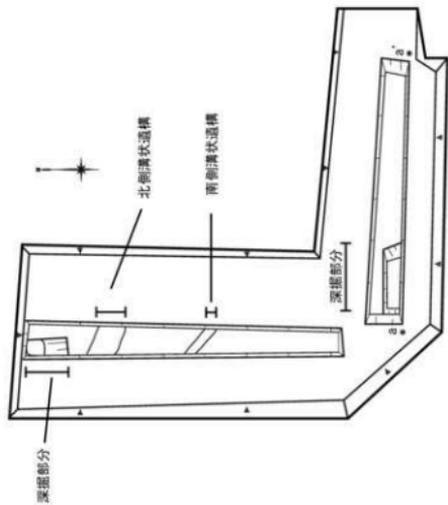


図2 試掘調査区平面図 (S=1/300)

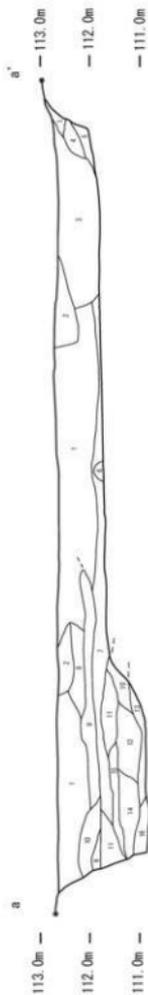


図3 試掘調査区東西トレンチ南壁土層図 (S=1/100)

- 1 黄褐色 粘土層 しまり強い、粘性強い (部分的に黄色味がある)
 2 褐色 砂質土 しまりあり 粘性強い (φ10mm程度の隙を積み、部分的に赤味、黄色味が強い)
 3 カクラン (褐色の土が主になる) 粘性強い (φ10mm程度の隙を積み、部分的に赤味、黄色味が強い)
 4 黄褐色 砂質土 しまりあり 粘性あり (φ10mm程度の隙を積み)
 5 暗黄褐色 砂質土 しまりあり 粘性あり (灰白色の粘土ブロックを含む)
 6 カクラン
 7 黄白色 砂質土 しまりあり 粘性弱い (φ10mm程度の隙を積み、部分的に赤味、黄色味が強い)
 8 灰白色 砂質土 しまりあり 粘性弱い (φ10mm程度の隙を積み、部分的に赤味、黄色味が強い)
 9 黄白色 砂質土 しまりあり 粘性強い (φ10mm程度の隙を積み、部分的に赤味、黄色味が強い、粘土が部分的に混じる)

- 10 灰白色 粘土層 しまりあり 粘性強い (部分的に灰分の赤みあり)
 11 暗黄褐色 粘土層 しまりあり 粘性強い
 12 褐色 砂質土 しまりあり 粘性強い (φ10mm程度の隙を積み、粘土ブロックが入る)
 13 灰色 粘土層 しまりあり 粘性弱い (φ5~10mmの隙を含む)
 14 灰白色 粘土層 しまりあり 粘性あり (φ5~10mmの隙と粘土ブロックが混じる)
 15 黄褐色 砂質土 しまりあり 粘性弱い (φ5~10mmの隙と粘土ブロックが混じる)
 16 黄褐色 砂質土 しまり強い、粘性強い (φ30~80mmの隙を多く含む)

第3節 遺構

調査区内では、柱穴などの建物遺構は検出されていない。溝4条が検出された。いずれの溝も調査区外にのびている。調査区南壁の断面図(図7)にあるように、現地表面から約1mは造成された土であり、大型のブロックや塩化ビニールのパイプ片が混じる。

SD1

北西からL字状に南東に流れる溝である。幅0.4～0.8m、深さ0.4mの素掘溝で、長さ約12mにわたり確認できた。地山面から掘り込まれており、溝の中では更に北側が深く掘り込まれる。

北側では長さ約4.2mにわたり石積みによって護岸されており更に北側に続いている。護岸の石積みは20～40cmのチャートで構成され、溝の内側に面を揃え、地山面に据え付けられている。木杭が多くみられ、護岸等に使用した可能性が考えられる。木杭は上層から地山面まで打ちこまれ、SD1の時期ではなく、上層に19世紀前半の遺物がみられることから、その時期以降の護岸施設の一部と考えられる。下層の出土遺物から、SD1は、最大限13世紀前半～15世紀中頃に機能していたと考えられる。

SD2

SD1の南側に流れる溝であり、東西に流れ、西側でSD4に合流する。幅0.4～0.8m、深さ約0.2m、長さ約8.4mにわたり検出した。溝の幅がやや広がっている東側部分でチャートを集積した状況がみられるが、列に並んでいないことからSD1のような護岸という意図ではないと考えられる。SD1と同様に、上層では19世紀前半の遺物がみられるが、底付近から出土した遺物から白土原1号窯式～脇之島3号窯式の時期と考えられる。

SD3

北西から南東にかけて流れる溝である。西側で溝は大きく開くが、SD5に切られる。浅い部分では、幅0.4～0.8m、深さ約0.1m、長さ約10.5mを測り、北側の深くなっている部分は、幅約0.4m、深さは0.3mである。

遺物は、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、近世陶器が出土し、時期は、古墳前期から脇之島3号窯式の時期までの幅があるが、主体となるのは12～13世紀と考えられる。

SD4

調査区の北西部からSD3との合流点までをSD4ととらえる。北方向に流れる溝であり、幅約1.4m、深さ約0.2m、長さ約6.3mにわたり検出した。SD1と同様に、護岸用の杭やSD1よりやや大ぶりの石積みが見られ、調査区外へと続いている。SD1と様相が似ていることや出土した遺物から、19世紀前半以降の護岸と考えられる。

出土した遺物は、谷迫間2号窯式～脇之島3号窯式の時期が主体であるが、SD3との切り合い関係から14～15世紀と考えられる。

SD5

南北方向に設けられた溝であり、SD4と合流して北方向に流れる。SD3の溝までをSD5とする。幅0.4～1.0m、深さ約0.3m、長さ約4.3mにわたり検出した。切り合い

関係から SD3 の後にできた溝である。

遺物は溝の上層で近世陶器もみられるが、SD4 と同時期と考えられる。

第4節 遺物

柿田遺跡（道の駅地点）では、土師器、須恵器、山茶碗、近世陶器など 852 点の遺物が出土し、そのうち 46 点を図化した。

1～3 は、試掘の際のトレンチから出土している。1 は谷迫間 2 号窯式、2・3 は窯洞 1 号窯式の山茶碗の碗である。

4～10 は、調査区内の造成土から出土している。4・5 は白土原 1 号窯式の碗、6 は同窯式の小皿である。7～10 は、山茶碗の小皿であり、7 及び 9 には底部内面に指ナデ調整の痕がみられる。

11～13 は、SD1 の堆積土から出土している。11・13 は山茶碗の碗、12 は山茶碗の小皿である。14 は SD1 と SD2 から出た破片が接合した広東碗である。

15～21 は、SD2 の堆積土から出土している。15～17 は山茶碗の碗である。18・19 は山茶碗の小皿である。20・21 は 19 世紀前半の近世陶器であり、20 は内面に、21 は内外面に鉄絵で模様を描かれる。

22～38 は、SD3 の堆積土から出土している。22 は、古墳時代前期の土師器の甕である。23～26 は、7 世紀初～8 世紀後半の須恵器である。27 は明和 27 号窯式の灰釉陶器の椀である。28～32 は、矢戸上野 2～大畑大洞 4 号窯式の子茶碗の碗である。33～38 は、山茶碗の小皿である。時期は谷迫間 2～脇之島 3 号窯式までみられる。

39～44 は、SD4 の堆積土から出土している。39・40 は山茶碗の碗、41・42 は山茶碗の小皿である。43 は連房Ⅱ期の丸皿であり、鉄絵で草が描かれる。44 は近世の水滴であり、外面に灰釉が施釉されている。45・46 は、SD4 の南側堆積土から出土している山茶碗である。

第5節 総括

今回の調査では溝のみが検出され、住居跡などは検出されなかった。溝の中でも護岸を伴わないものは自然流路の可能性が考えられる。杭は自然木を利用したもので、先端のみ加工を行っているものが多い。柿田遺跡（インターチェンジ地点）の中では弥生時代後期から近世後期の水制遺構が検出されている。多くは直立木に横木を配し、本遺跡のような直立木のみからなる簡易な護岸施設はみられない。上部が削平されているため不明な部分もあるが、氾濫等が少なかったため、しっかりとした護岸が必要のない、簡易な施設となった可能性が考えられる。

柿田遺跡の C2 地点では、古代から近現代までの層が検出され、古墳時代後半の自然流路の他、中世前期と考えられる掘立柱建物が見られ、調査地点で検出された溝は掘立柱建物と近い時期である。柿田遺跡馬乗洞地点でも、奈良～平安時代と想定される自然流路が検出されており、今回検出された時期よりも古いものとなるが、同じように生活用水や農業等の生産活動に関連しており、北側方向に広がる集落へ水源を供給していたと考えられる。

調査地点は、他の地点に比べ遺構の密集度合いは低い。また、出土する遺物も小破片が多く、住居跡も検出されていないことから集落域から外れた部分であったと考えられる。

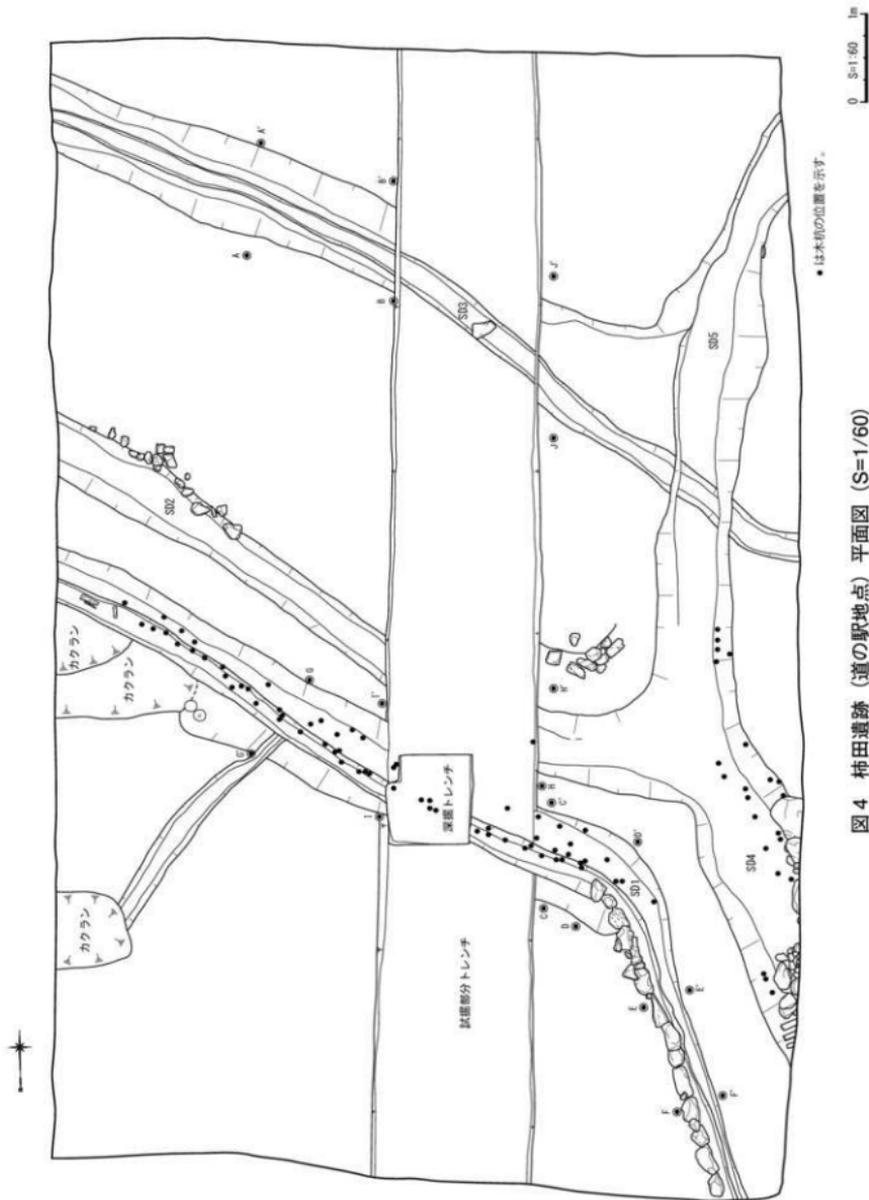
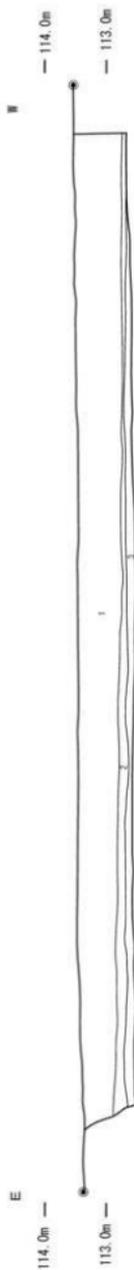


図4 柿田遺跡(道の駅地点)平面図(S=1/60)



- 1 凍成土 (大型の凍、タイガ、パイプ等が入る。)
- 2 凍成土 (ブロック状が入る。)
- 3 黄褐色 粘土層 (部分的に黄色味がある。)

図7 調査区南壁土層図 (S=1/80)

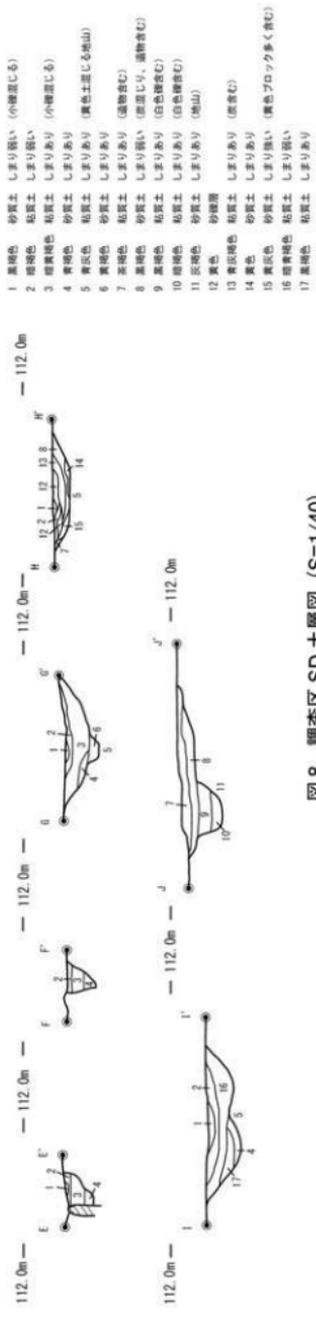


図8 調査区SD土層図 (S=1/40)

- 1 黄褐色 砂質土 (小礫混じり)
- 2 暗褐色 粘質土 (しまり強い)
- 3 暗褐色 粘質土 (しまり強い)
- 4 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 5 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 6 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 7 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 8 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 9 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 10 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 11 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 12 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 13 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 14 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 15 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 16 黄褐色 粘質土 (しまり強い)
- 17 黄褐色 粘質土 (しまり強い)

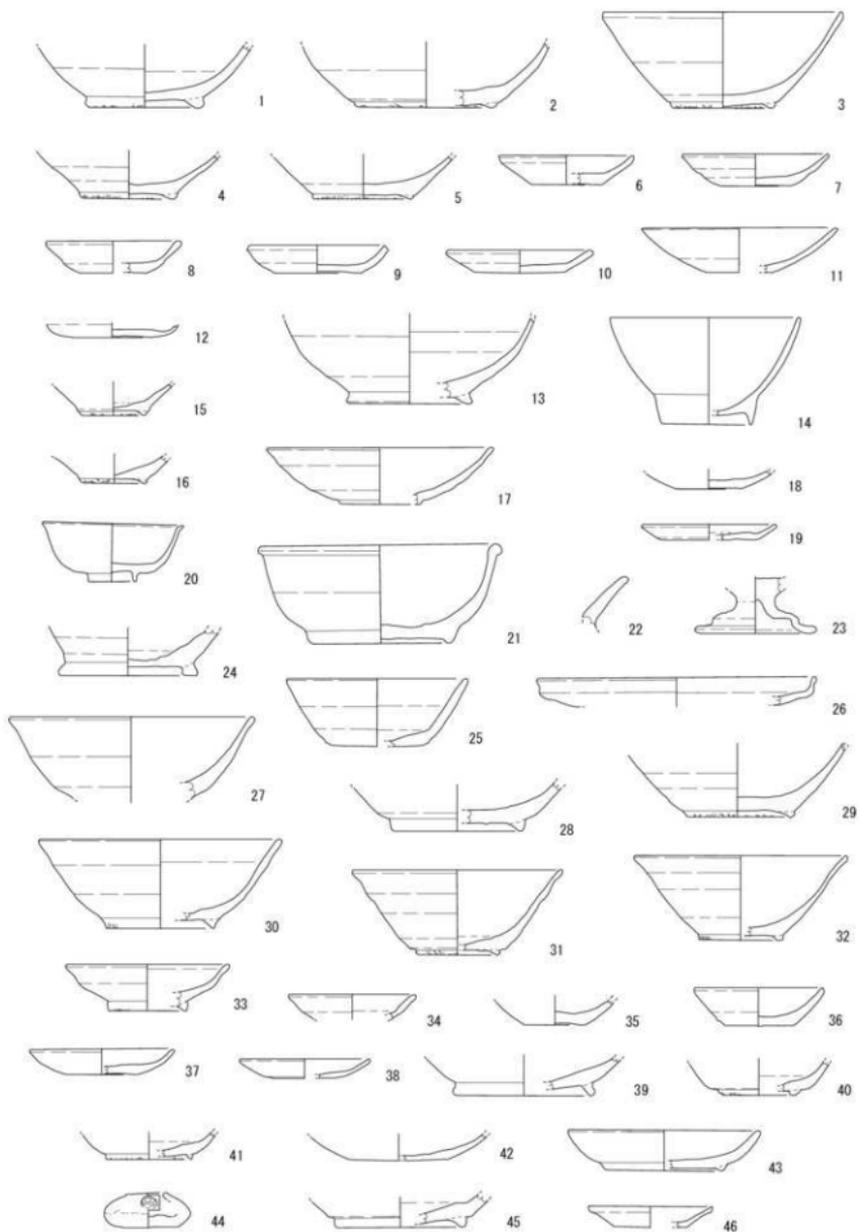


図9 柿田遺跡（道の駅地点）出土遺物（S=1/3）

| 番号 | 写真 | 調査区・遺構 | 構造 | 器種 | 器種 | 高さ | その他 | 胎土 | 地成 | 色 | 厚さ(%) | 成形・調整 | その他 | 時期 |
|----|----|--------|-----|----|----|--------|----------|----|----|--------|-------|-------|------|----------------------|
| 1 | 1 | 21 | 山家焼 | 碗 | 一 | (3.9) | 高台径(6.6) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 高台部70 | 口ワ成形 | 高台に粉灰塗。内面に黒色の施あり。器面2 |
| 2 | 2 | 2 | 山家焼 | 碗 | 一 | 4.0 | 高台径(6.2) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 高台部40 | 口ワ成形 | 高台に粉灰塗。 |
| 3 | 3 | 21 | 山家焼 | 碗 | 一 | (14.5) | 高台径(11) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 高台部40 | 口ワ成形 | 高台に粉灰塗。 |
| 4 | 4 | 5 | 埴土 | 碗 | 一 | (2.6) | 高台径(5.8) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 高台部55 | 口ワ成形 | 高台に粉灰塗。 |
| 5 | 5 | 埴土 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (8.0) | 高台径(4.2) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部40 | 口ワ成形 | 高台に粉灰塗。 |
| 6 | 6 | 埴土 | 山家焼 | 小皿 | 一 | 9.0 | 高台径(4.3) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部40 | 口ワ成形 | 高台に粉灰塗。 |
| 7 | 7 | 埴土 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (7.8) | 高台径(4.2) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部25 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。内面に自然釉。 |
| 8 | 8 | 埴土 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (8.2) | 高台径(4.2) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部30 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 9 | 9 | 埴土 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (8.6) | 高台径(5.5) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部25 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 10 | 10 | 埴土 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (8.2) | 高台径(4.2) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部35 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 11 | 11 | SD1 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (7.8) | 高台径(7.8) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部35 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 12 | 12 | SD1 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (5.3) | 高台径(7.1) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部45 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 13 | 13 | SD1 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (11.4) | 高台径(5.3) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部45 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 14 | 14 | SD1 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (1.9) | 高台径(4.2) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部50 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 15 | 15 | SD2 | 山家焼 | 碗 | 一 | (1.8) | 高台径(3.7) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部15 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 16 | 16 | S02 | 山家焼 | 碗 | 一 | (13.4) | 高台径(4.8) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部50 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 17 | 17 | S02 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (7.9) | 高台径(3.9) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部20 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 18 | 18 | S02 | 山家焼 | 小皿 | 一 | (1.0) | 高台径(5.6) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部85 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 19 | 19 | S02 | 山家焼 | 小皿 | 一 | 8.5 | 高台径(2.8) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部100 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 20 | 20 | S02 | 山家焼 | 碗 | 一 | 14.2 | 高台径(8.2) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 口部100 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 21 | 21 | S02 | 土師器 | 鉢 | 一 | (3.1) | 高台径(7.7) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | — | — | 底面内面にナリ塗。 |
| 22 | 22 | S03 | 土師器 | 鉢 | 一 | (3.0) | 高台径(7.9) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | — | — | 底面内面にナリ塗。 |
| 23 | 23 | S03 | 土師器 | 高杯 | 一 | (3.4) | 高台径(6.5) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部10 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 24 | 24 | S03 | 土師器 | 高杯 | 一 | (2.8) | 高台径(8.0) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 高台部95 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 25 | 25 | S03 | 土師器 | 杯身 | 一 | (10.8) | 高台径(6.4) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部25 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 26 | 26 | S03 | 土師器 | 高杯 | 一 | (16.8) | 高台径(1.7) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部5 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 27 | 27 | S03 | 土師器 | 高杯 | 一 | (14.8) | 高台径(5.0) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部20 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 28 | 28 | S03 | 土師器 | 高杯 | 一 | (3.0) | 高台径(7.9) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 高台部25 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 29 | 29 | S03 | 土師器 | 高杯 | 一 | (4.5) | 高台径(6.5) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 高台部75 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 30 | 30 | S03 | 土師器 | 高杯 | 一 | (14.4) | 高台径(6.5) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 高台部20 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 31 | 31 | S03 | 土師器 | 高杯 | 一 | (12.7) | 高台径(5.1) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部30 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 32 | 32 | S03 | 土師器 | 高杯 | 一 | (12.8) | 高台径(4.8) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部15 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 33 | 33 | S03 | 土師器 | 高杯 | 一 | (9.8) | 高台径(4.8) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 高台部25 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 34 | 34 | S03 | 土師器 | 小皿 | 一 | (7.7) | 高台径(1.5) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部10 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 35 | 35 | S03 | 土師器 | 小皿 | 一 | (1.6) | 高台径(3.8) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部60 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 36 | 36 | S03 | 土師器 | 小皿 | 一 | 7.7 | 高台径(4.1) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部70 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 37 | 37 | S03 | 土師器 | 小皿 | 一 | (8.0) | 高台径(4.3) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部25 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 38 | 38 | S03 | 土師器 | 小皿 | 一 | (7.8) | 高台径(4.0) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部15 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 39 | 39 | S04 | 土師器 | 碗 | 一 | (2.3) | 高台径(8.2) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 高台部25 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 40 | 40 | S04 | 土師器 | 碗 | 一 | (2.1) | 高台径(4.2) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 高台部30 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 41 | 41 | S04 | 土師器 | 小皿 | 一 | (1.5) | 高台径(6.1) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 高台部15 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 42 | 42 | S04 | 土師器 | 小皿 | 一 | (11.5) | 高台径(3.9) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 底面15 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 43 | 43 | S04 | 土師器 | 文皿 | 一 | (2.3) | 高台径(7.5) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部20 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 44 | 44 | S04 | 土師器 | 文皿 | 一 | (2.3) | 高台径(7.5) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部20 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 45 | 45 | S04 | 土師器 | 文皿 | 一 | (7.5) | 高台径(4.4) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部10 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |
| 46 | 46 | S04 | 土師器 | 文皿 | 一 | (7.5) | 高台径(4.4) | 密 | 良好 | 内・外・断面 | 褐色 | 口部10 | 口ワ成形 | 底面内面にナリ塗。 |

表2 出土遺物観察表

第2章 ほうの木古窯跡

第1節 地理的・歴史的環境

ほうの木古窯跡は、可見市南西部標高130m前後の丘陵地にあり、鴨洞溜池の北側に位置する。周辺には古窯跡が点在するも、集落遺跡は確認できていない。古窯跡以外の遺跡としては、一部滅失している神明洞古墳、中世の経塚かもしれない伊草山1号墓～3号墓がみられる。また、塩河城跡は可見秀久が城主といわれる城跡であり、標高190mの山頂に平坦面や堀切がみられる。室原城跡は可見秀行が城主といわれる城跡であり、標高216mの山頂に3つの曲輪と堀切がみられる。

可見市内の窯跡は、南部の丘陵地帯に多くみられる。本遺跡周辺の古窯跡は、灰釉陶器を焼成する窯跡が多く、山茶碗を焼成する窯跡も点在する。これらの窯跡は未調査であるが、長洞古窯跡群で採集された資料が可見郷土歴史館に収蔵されている。灰釉陶器を焼成した窯の正確な場所や規模、構造は不明であるが光ヶ丘一号窯式、大原二号窯式の時期と考えられる。また、三ツ池5号窯跡は磁器を焼成した。

第2節 調査に至る経緯・経過

1. 経緯

平成21年4月30日、鴨洞溜池の護岸工事中に、可見市環境経済部農林課（現産業振興課）から、山茶碗片が散らばっているという連絡を受けた。この場所は、遺跡地図の中で把握されていない場所であり、現地を確認したところ、山茶碗や焼台が溜池の護岸に散らばっていた。本来は溜池の中であったと思われるが、水位が下がり、灰原と思われる黒色の土が護岸に露頭していた。岐阜県教育委員会に対して、教文振第25号にて文化財保護法第97条の規定による「遺跡発見の通知」を行い、新規の窯跡として字名による「ほうの木古窯跡」とした。

造成計画の設計では、鴨洞溜池の北側にあると想定される窯体の部分には影響がなかったが、灰原部分は現状のまま保存することは不可能であり、工事実施前に記録保存のための発掘調査を行うこととなった。

事務手続きの流れ

- 平成21年4月30日付「遺跡発見の通知について」
発信者 可見市長 山田豊 発信先 岐阜県教育委員会教育長 松川禮子
- 平成21年5月18日付「遺跡の発見について」
発信者 岐阜県教育委員会教育長 松川禮子 発信先 山田豊
- 平成21年6月12日付「埋蔵文化財発掘調査の報告について」
発信者 可見市教育委員会教育長 井戸英彦 発信先 岐阜県教育委員会教育長 松川禮子
- 平成21年6月12日付「埋蔵文化財の発掘調査について」
発信者 岐阜県教育委員会教育長 松川禮子 発信先 可見市教育委員会教育長 井戸英彦
- 平成21年7月8日付「発掘調査終了報告書」

2. 経過

発掘調査は準備を含め、平成 21 年 6 月 8 日～7 月 2 日まで実施した。工事該部分に三つのグリッドを設定し、人力で掘削した。断面図、出土状況図は進捗状況にあわせて実測を行った。

〈参考文献〉

「岐阜県中世城跡総合調査報告書」第 3 集 2004 年 岐阜県教育委員会

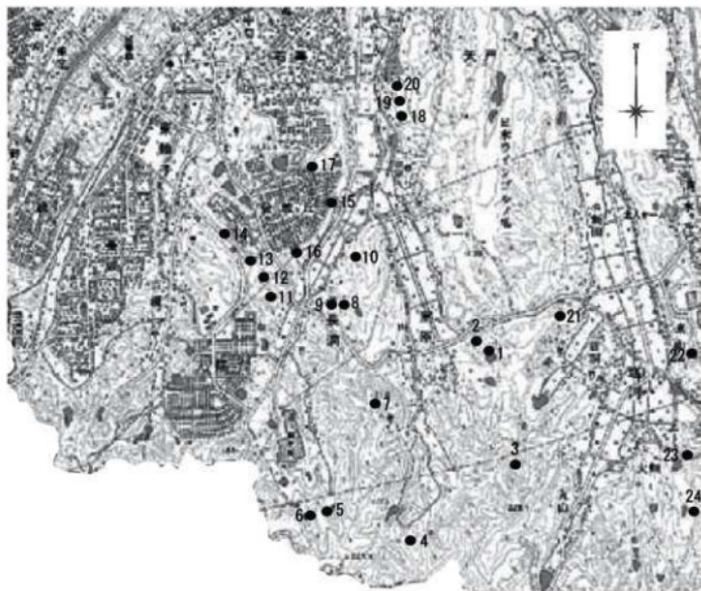


図 1 周辺遺跡分布図 (S=1/50,000)

| | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1 ほうの木古窯跡 | 9 広田 3 号窯跡 | 17 大善坊古窯跡 |
| 2 室原古窯跡 | 10 広田 1 号窯跡 | 18 伊草山 3 号墓 |
| 3 塩河城跡 | 11 三ツ池 6 号窯跡 | 19 伊草山 2 号墓 |
| 4 真名洞古窯跡 | 12 三ツ池 1 号窯跡 | 20 伊草山 1 号墓 |
| 5 深谷古窯跡 | 13 三ツ池 4 号窯跡 | 21 撥の木溜池東古窯跡 |
| 6 切塞溜池古窯跡 | 14 三ツ池 5 号窯跡 | 22 東山古窯跡 |
| 7 室原城跡 | 15 三ツ池 3 号窯跡 | 23 神明洞古墳 |
| 8 広田 2 号窯跡 | 16 三ツ池 2 号窯跡 | 24 新道古窯跡 |

表 1 周辺遺跡一覧

第3節 遺構

ほうの木古窯跡の調査区画は全て物原である。灰層の厚さは厚い部分で80cmを測り、黒褐色層や暗褐色層としてみられる。褐色層や明褐色層にも多くの陶片を含み、操業期間中の休業期における間層を示す広がりは見られない。物原の中には陶片以外に焼台や窯壁片がみられ、それらの分布の中心はB-Dの間にみられる。

C-C'断面には、窯体の掘り抜き排土がみられるが、発掘調査時は掘り抜き排土という認識がなかったため、平面で範囲をおさえられていない。ただ、B-B'断面及びD-D'断面には同一層がみられないことから、掘り抜き排土の範囲は東西6m以内の範囲に収まる。

窯体部分は、検出された灰原の北側の斜面にあると思われるが、現地形を観察する限り窯跡と想定されるような窪地はみられず、改変が入っている可能性も考えられる。遺物の出土状況から、B-D間の北側上面に窯跡があった可能性が高い。

第4節 遺物

ほうの木古窯跡では、約49,540点の遺物が出土した。出土した遺物の多くは山茶碗であり、瓦や近世陶器も67点出土している。山茶碗は接合を行い、高台が半分以上残存しているものについては計測を行った。計測を行った碗は2326点、小皿は858点であり、計測を行った散布図や棒グラフの中には実測した遺物は含まれていない。

出土した遺物のうち、碗168点、輪花碗7点、小皿132点、輪花皿1点、耳皿1点、杯2点、壺1点、仏器2点、焼台1点を図化した。

碗(1～168)

碗は全てロクロ成形によってつくられ、胎土は密であり、灰色もしくは灰白色を呈するものが多い。施釉している個体はみられず、全て自然釉である。

口径は14.1～18.7cmであり、高台径は5.8～9.6cmを測る。モミガラ圧痕のない碗は口径15.6～16.8cm、高台径7.0～8.0cm、モミガラ圧痕のある碗は口径15.4～16.4cm、高台径7.4～8.0cmに分布が多くみられる。モミガラ圧痕の有無による法量の差はみられない。

体部は丸みをもって直線的に開くものと、高台部付近から直線的に開くものがみられる。口縁部は端部付近で外反するものと、体部から直線的にのびるものがみられるが、端部は多くが丸みを帯びる。器厚は一定のものが多いが、76のように薄手に作られるものもみられる。

底部内面は扁平なものも多くみられるが、底部の中心に向かって薄くなっていくものもみられる。

底部外面にナデを行わない場合と、ナデにより回転糸切痕を消す調整がみられ、前者はモミガラ圧痕のないものに多い。モミガラ圧痕のあるものはナデ消している割合が高い。

高台は全て付け高台であり、高台を接合しないものも7点出土している。断面形状は三角形を呈するものと、台形を呈するものがみられるが、台形を呈するものの割合は少ない。

高台の接合方法は回転糸切後に粘土紐を輪状に貼りつけ、ロクロナデにより整形される。継目が明瞭なもの、整形が丁寧なもののみみられる。高台は、直立するものに比べやや外

反するものが多い。

高台にはモミガラ圧痕の認められるものとないものがみられる。前者は全体的にみられるものと、わずかしかがみられないものがあり、計測を行った個体ではモミガラ圧痕が認められるものがない個体よりも1割程度多くみられる。

碗の中には、窯道具の蓋として使用したとみられるような、外面全体に自然釉やボロが付着している遺物はみられない。出土した資料の中には、碗の内面にボロや石の破片が融着しているものがみられ、重ね焼きの際に一番上に置いた個体と思われることから、蓋は使用されていないと考えられる。

また、灰白色を呈した生焼けの個体が一部みられる。成形については焼成が良好なもの変わらず、モミガラ圧痕のないものがやや多い。

輪花碗 (169～175)

法量や形状、体部の整形は通常の碗とは変わらないが、モミガラ圧痕のあるものは少ない。体部は丸みをもって、開いていくものが多くみられ、口縁端部付近で外反するものと、体部から直線的に広がるものとに分かれる。高台部は外側に開き気味に直立するものが多く、三角形を呈する。完形の個体はないが、2～4カ所の輪花が認められ、輪花は幅1cm程度であり、指ナデにより整形される。

小皿 (176～306)

小皿も全てロクロ成形であり、胎土、色調ともに碗と同様であるが、生焼けの小皿の割合は碗よりも少ない。口径は7.9～12.8cmの中にあり、高台径は4.0～7.3cm内である。モミガラ圧痕のない小皿は、口径10.4～11cm、高台径5.1～5.8cm、モミガラ圧痕のある小皿は、10.0～10.7cm、高台径4.9～5.5cmに多く分布がみられる。モミガラ圧痕のある個体の方がやや小振りな傾向をみる。263のように、小碗のような形状のものもみられる。176・177は、口縁部が直線的に開く形状で西坂1号窯式にみられ、平均値からみても器高が低い。

体部は丸みをもって立ち上がり、稜に近いような屈曲をもって口縁部近くで外反するものと、高台部付近から直線的にのびるものが多くを占め、口縁端部は丸みを帯びる。

底部内面は扁平な個体が多く、わずかではあるが、碗と同様に薄くなる個体もみられる。底部外面の回転糸切痕のナデ消し等については、碗と同様である。

高台は全て付け高台であり、直立気味のものが多い。断面の形状は三角形が多く、わずかに台形もみられる。モミガラ圧痕のあるものとないものがみられ、後者の方が出土量は少ない。

無高台の小皿は1点のみ出土している(306)。整形は、高台のあるものと変わりなく、底部外面の回転糸切痕が明瞭である。

耳皿 (307)

耳皿は2点が出土している。307を復元すると、口径は直径9.7cm、短径6.4cmを測る。指頭でつまみ、横2.4cm、縦1.7cmを折り曲げている。底部外面は、回転糸切痕や板目状圧痕もみられ、底部内面に×印のへら記号がみられる。内面には径4.3cmの重ね焼きの痕がみられ、小皿や仏器を重ねて焼いた可能性が考えられる。

輪花皿 (308)

輪花皿は1点が出土している。高台部から口縁部にかけて内湾気味に立ち上がり、口縁部付近でやや外反する。口縁部の残存はわずかであり、輪花が1ヶ所のみみられる。高台部は直立気味で、断面形状は三角形である。

輪花は碗と同様に指ナデによって整形される。高台にはモミガラ圧痕がみられる他、内面には重ね焼きの痕跡がみられるため、他の小皿とともに重ね焼きされたと考えられる。

杯 (309・310)

杯は3点が出土しており、高台を伴うもの(309)と伴わないもの(310)がみられる。309は体部から口縁部にかけて内湾し、口縁端部はややすぼまり、とがった形状を呈する。口縁部外面に弱い沈線が巡る。内面に融着物がみられるため、重ね焼きした碗の一番上において焼成されたと考えられる。

310は口縁部は肥厚し、玉縁のような形状を呈する。底部外面には回転糸切痕がみられ、内面には大量のボロが融着しているため、重ね焼きの一番上において焼成されたと考えられる。

線刻がみられる碗 (311)・小皿 (312)

311は、体部は高台部から直線的のび、口縁端部でやや外反する。外面には、口縁部から底部にかけて縦の4本の線刻をした後に、横の線刻が描かれる。縦の線刻は途切れた部分もみられ、何を意図しているかは不明である。

線刻がみられる小皿も1点出土している(312)。高台部から口縁部にかけて直線的のび、高台部は直立気味である。内面には一部ボロが付着しているが、重ね焼きの一番上とは断定できない。体部に描かれた線刻は、1本の横線を中心に縦に7～8本の短い線が描かれ、一方の先端には頭のような丸が、反対側には複数に分かれた尾のような線が描かれている。何を描いているか不明であるが、龍などの可能性も考えられる。

仏器 (313・314)

実測した2点の他に台部分の破片が1点、ミニチュア部分が1点出土している。313は上面にミニチュアの器が3個体みられ、耳皿を模したものと碗の他、もう一つは欠損しており、器の形状は不明である。ミニチュアの器もロクロ成形されている。314は上面にミニチュアの器が2個体みられ、2つともロクロ成形された碗である。2点ともに器の中央には凹みを有する。外面にボロが付着することから碗の最上部におかれた可能性が高く、内外面に自然釉が付着する。

壺 (315)

底部円盤から粘土紐を輪積みしてロクロ成形がされており、底部から15cmほどの高さの部分に接合痕がみられる。接合痕を境に上部と下部を分けて作り、接合していると考えられる。外面には板状の工具痕がみられる。内外面に自然釉がかかっていることから、焼成中に割れている可能性が考えられる。

焼台 (316)

焼台は灰層の中から多く出土したが、全て碗用の焼台で小皿用の焼台はみられなかった。

窯の床面との設置角度は、計測したもので30度と45度の焼台がみられ、焼成室の斜面は30～45度と考えられる。316は、砂質粘土にスサが混入されΦ10mm程度の礫を含み、側面には指オサエやナデの痕跡がみられる。高台径7.4cmの碗用の焼台であり、高台との接地面にはモミガラの痕跡はみられない。

その他

317及び318は山茶碗の破片であるが、ポロや融着した製品をはがした際に使用された工具である可能性が考えられる。愛知県の塚原1号窯跡(川添2012)における調査例でも山茶碗の破片の中で調整と敲打・磨滅などの使用痕が認められる資料として紹介されている。実見した結果、数点このような破片がみられた。形状はナイフ状であり、片手で持つのに適しており、器面に打ち欠いてはがれた痕跡がみられる。これらの用途としては、焼成後の製品の器面調整として焼成時に付着した自然釉等の除去を、窯出し後に行った可能性が考えられる。

重ね焼き資料

重ね方として碗のみ、小皿のみを重ねたものがみられる。ただ、重ね焼きの資料が少なく、3個体以上重ねた資料はみられない。調査中に小皿の焼台はみられなかったが、碗の内面に残る重ね焼きの痕跡の中には、実見する限り小皿をおいて焼成した様子はみられなかった。そのため、碗と小皿を別々に焼いていた可能性が考えられる。矢戸上野2号窯では10個体以上が重ね焼きされ、下切兎田古窯跡では碗が11段、小皿が9段重ね焼きされたものが出土している。そのような状況がみられないため、重ねた個数は少なかった可能性も考えられる。

第5節 総括

ほうの木古窯跡は、施釉はみられないものの白瓷の様相を残した遺物が出土しており、その対比を行いながら、本遺跡の位置づけを行いたい。

(1) 器種組成について

本窯跡で出土した器種は、碗、輪花碗、小皿、耳皿、輪花皿、杯、壺、仏器である。器種の中には段皿、片口鉢などはみられず、山茶碗の窯としての色合いが強くみられ、谷迫間2号窯式の器種組成に似ている。

(2) 法量・成形について

谷迫間2号窯式に位置づけられる谷迫間2号窯跡、下切兎田古窯跡、下切香ヶ洞古窯跡の法量の平均は、碗は口径16.4cm、器高5.9cm、小皿は口径9.5cm、器高3.2cm付近に集中がみられる。それに比べほうの木古窯跡の平均は、碗が口径16.1cm、器高5.6cm、小皿は口径10.7cm、器高3.3cmを測り、碗は法量がやや小さくなり、小皿は法量がやや大きくなる。この法量は西坂1号窯式の碗Ⅰ、皿に近い値である。

また、回転糸切痕は残すものとナデ消したものがみられるが、モミガラ圧痕のあるものの方が、回転糸切痕が残る割合は高い。

(3) 編年について

ほうの木古窯跡の灰層から出土した碗や小皿の高台の形状は、大きく3種類に分けることができる。

1. モミガラ圧痕がみられず、断面形状が三角形を呈するもの
2. モミガラ圧痕がみられ、断面形状が三角形を呈するもの
3. モミガラ圧痕がみられ、断面形状が台形を呈するもの

2は矢戸上野2号窯式に特徴的であり、3は全体的にはわずかであるが、谷迫間2号窯式の特徴を示す。また、1は西坂1号窯式の特徴に近く、口縁部は直線的にのびず、口縁部付近で外反するものが多くみられる。

現在、谷迫間2号窯式の前に位置づけられている矢戸上野2号窯式の碗は、高台の断面形状がほぼ三角形を呈し、稀に台形状を呈する。また、ほぼ全てにモミガラ圧痕がみられるなどの特徴がある。

1にみられる形態は、山茶碗の矢戸上野2号窯式の前とも考えられるが、施釉は行われておらず、器面にみられるのは自然釉である。また、西坂1号窯式でもモミガラを採用が一部みられるが、モミガラ圧痕にも多寡があり、これを採用する過渡期的な要素と考えられる。

西坂1号窯式の前段階に位置づけられる赤坂1号窯よりも山茶碗としての様相が強くみられ、矢戸上野2号窯より以前に始まり、谷迫間2号窯式に入る頃まで操業していたのが、ほうの木古窯跡と考えられる。

| 実年代 | 窯式名 | 市内の窯跡 |
|------|-------|-------------------------|
| | 西坂1 | |
| 1100 | 矢戸上野2 | 矢戸上野2 矢戸上野3 |
| 1130 | 谷迫間2 | 谷迫間2 下切香ヶ洞 下切兎田 |
| 1170 | 浅間窯下1 | |
| 1190 | 丸石3 | 大森奥山2 大森奥山4 大森奥山5 大森奥山6 |
| 1210 | 窯洞1 | |
| 1220 | 白土原1 | 柿下 大森奥山3 |
| 1260 | 明和1 | 久々利奥礪山4 |
| 1310 | 大畑大洞4 | |
| 1360 | 大谷洞14 | |
| 1400 | 大洞東1 | |
| 1440 | 脇之島3 | |
| 1460 | 生田2 | |
| 1480 | | |

ほうの木

表2 ほうの木古窯跡の編年位置づけ

〈参考文献〉

- 川添和暁 2012 『塚原1号窯跡・若宮1号墳・山口堰堤3号墳』
公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター
- 長瀬治義 1985 『下切兎田古窯』 可見市教育委員会
- 長瀬治義 1994 『下切香ヶ洞古窯』 可見市教育委員会
- 長瀬治義 1994 『矢戸上野2・3号窯』 可見市教育委員会
- 若尾正成他 1984 『赤坂1号窯発掘調査報告書』 多治見市教育委員会

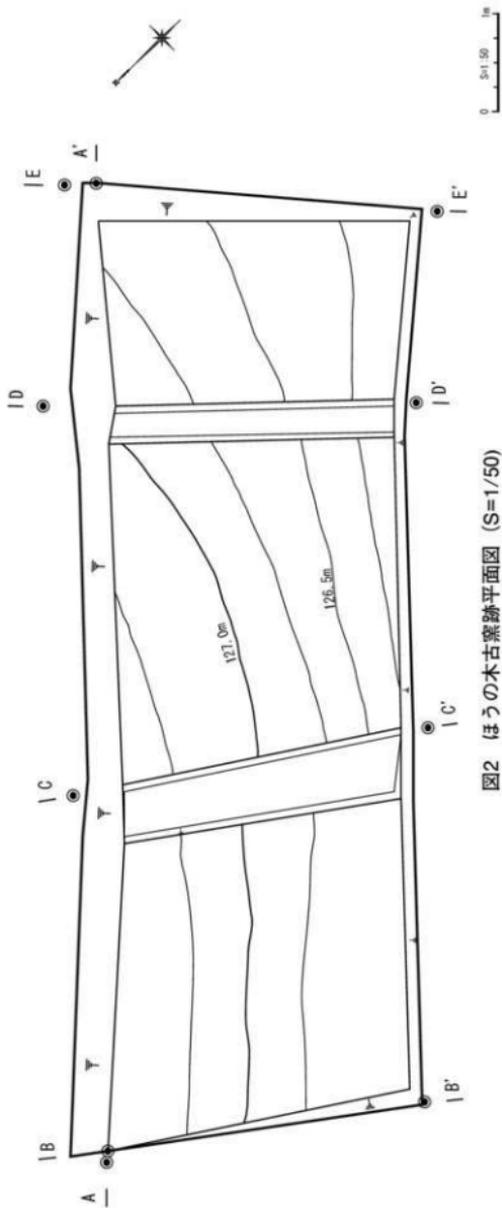


図2 ほうの木古窯跡平面図 (S=1/50)

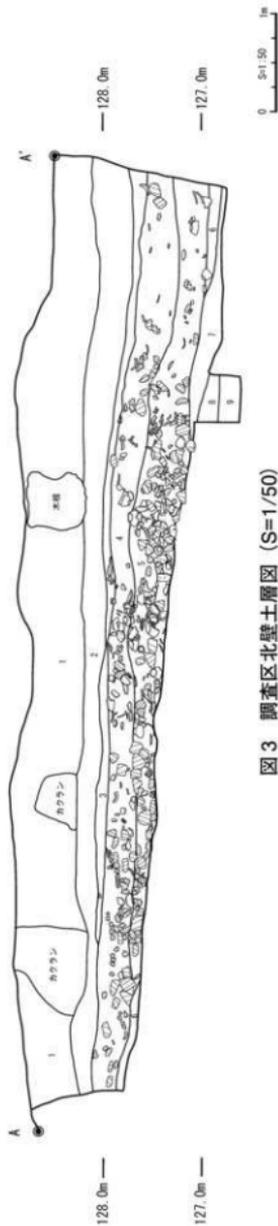


図3 調査区北壁土層図 (S=1/50)

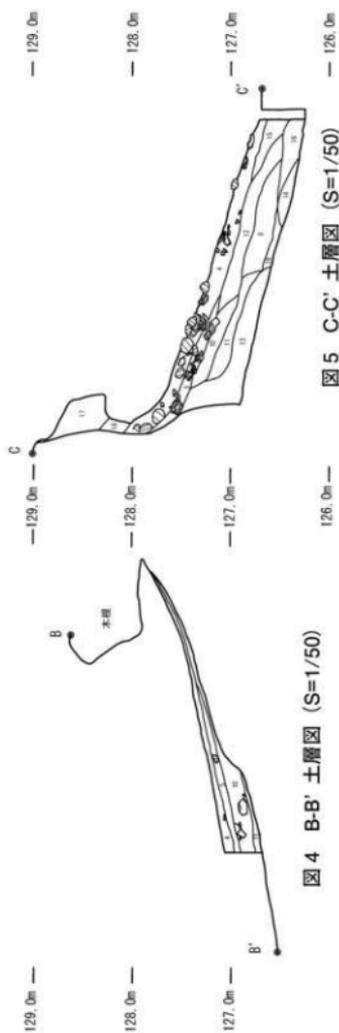


図4 B-B'土層図 (S=1/50)

図5 C-C'土層図 (S=1/50)

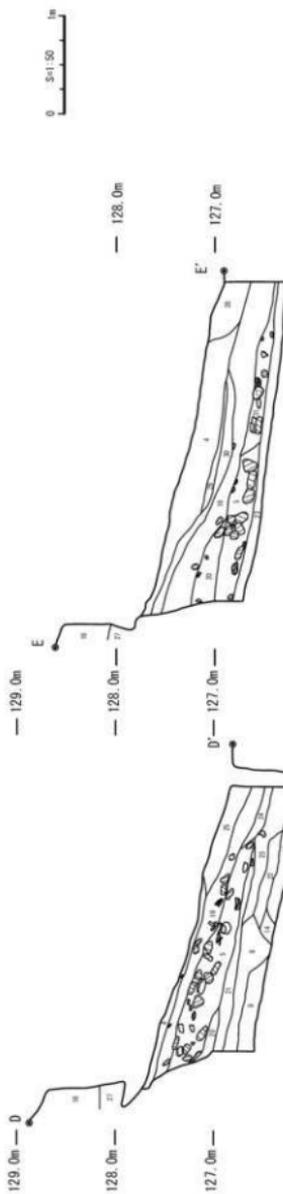


図6 D-D'土層図 (S=1/50)

図7 E-E'土層図 (S=1/50)

- 1 黒褐色 粘質土 しまり強い(表土)
- 2 黒褐色 粘質土 しまり強い(堆積土)
- 3 暗褐色 粘質土 しまり強い(遺物・炭屑片を含む)
- 4 黒褐色 粘質土 しまり強い(遺物・炭屑片、埴台、炭屑片、炭末を含む)
- 5 暗褐色 粘質土 しまり強い(遺物・炭屑片を多く含む)
- 6 暗褐色 粘質土 しまり強い(遺物・炭屑片を多く含む、部分的に黒炭をおびる)
- 7 灰褐色 砂質土 しまり強い(遺物を多く含む)
- 8 灰褐色 粘質土 しまり強い(遺物・炭屑片を含む)
- 9 灰褐色 粘質土 しまり強い(遺物・炭屑片を含む)
- 10 褐色 砂質土 しまり強い(遺物を少量含む)

- 11 灰褐色 粘質土 しまり強い(遺物を少量含む)
- 12 暗灰褐色 粘質土 しまり強い
- 13 灰白色 砂質土 しまり強い(通りほき得土)
- 14 黒褐色 砂質土 しまり強い
- 15 黄灰色 砂質土 しまり強い
- 16 暗褐色 砂質土 しまり強い
- 17 暗褐色 粘質土 しまり強い
- 18 明褐色 砂質土 しまり強い
- 19 黒褐色 粘質土 しまり強い(遺物・炭屑片を含む)
- 20 暗灰褐色 粘質土 しまり強い(遺物・炭屑片を多く含む)

- 21 灰白色 砂質土 しまり強い(遺物を含む)
- 22 灰褐色 砂質土 しまり強い
- 23 暗灰褐色 粘質土 しまり強い(遺物を含む)
- 24 暗褐色 粘質土 しまり強い(遺物を含む)
- 25 黄灰色 砂質土 しまり強い(遺物を含む)
- 26 黒褐色 粘質土 しまり強い(埴山)
- 27 黒色 粘質土 しまり強い
- 28 灰白色 砂質土 しまり強い(堆積土)
- 29 暗灰白色 砂質土 しまり強い(遺物を含む)
- 30 灰色 砂質土 しまり強い(遺物・炭屑片を含む)
- 31 暗褐色 粘質土 しまり強い(遺物・炭屑片を多く含む)

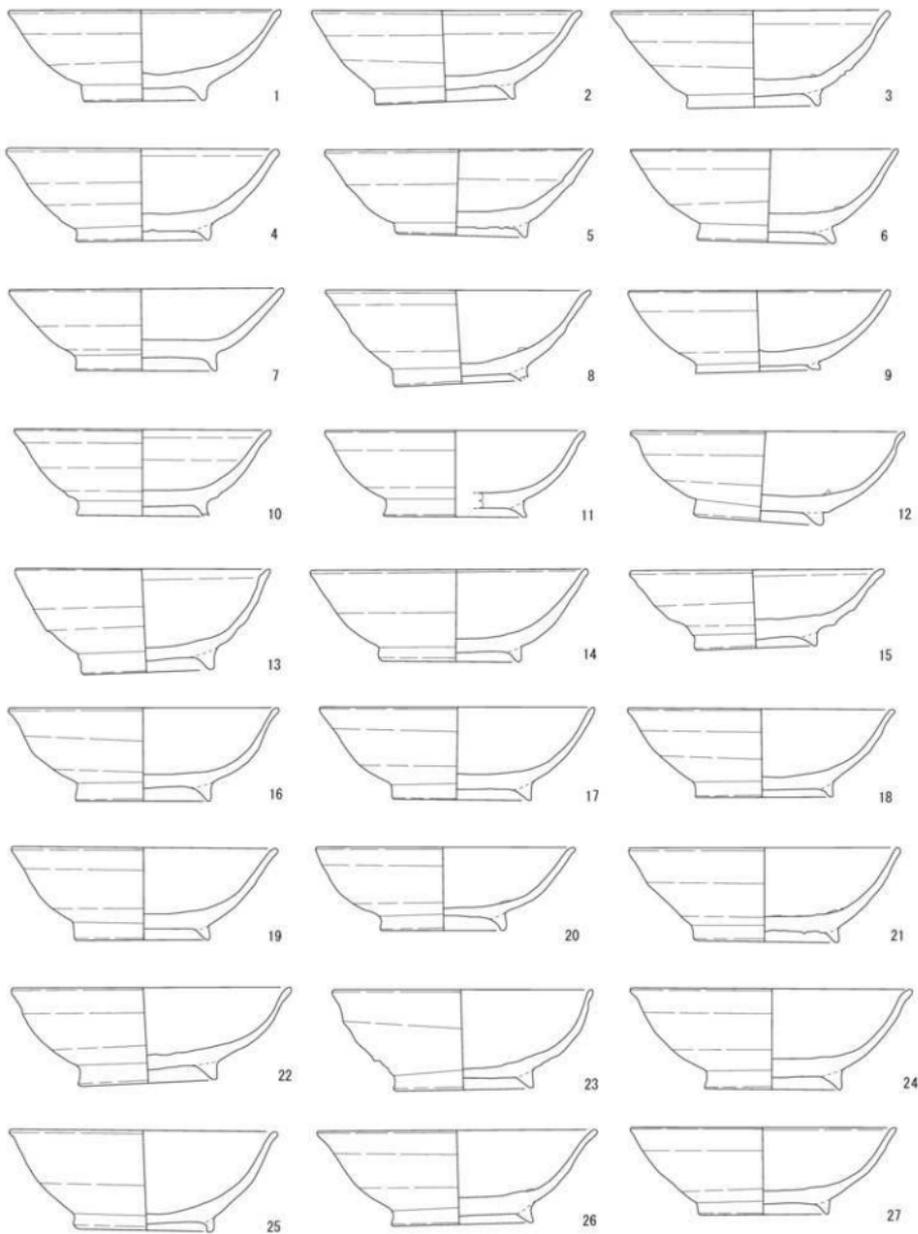
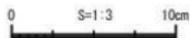


図8 ほうの木古窯跡出土遺物 1



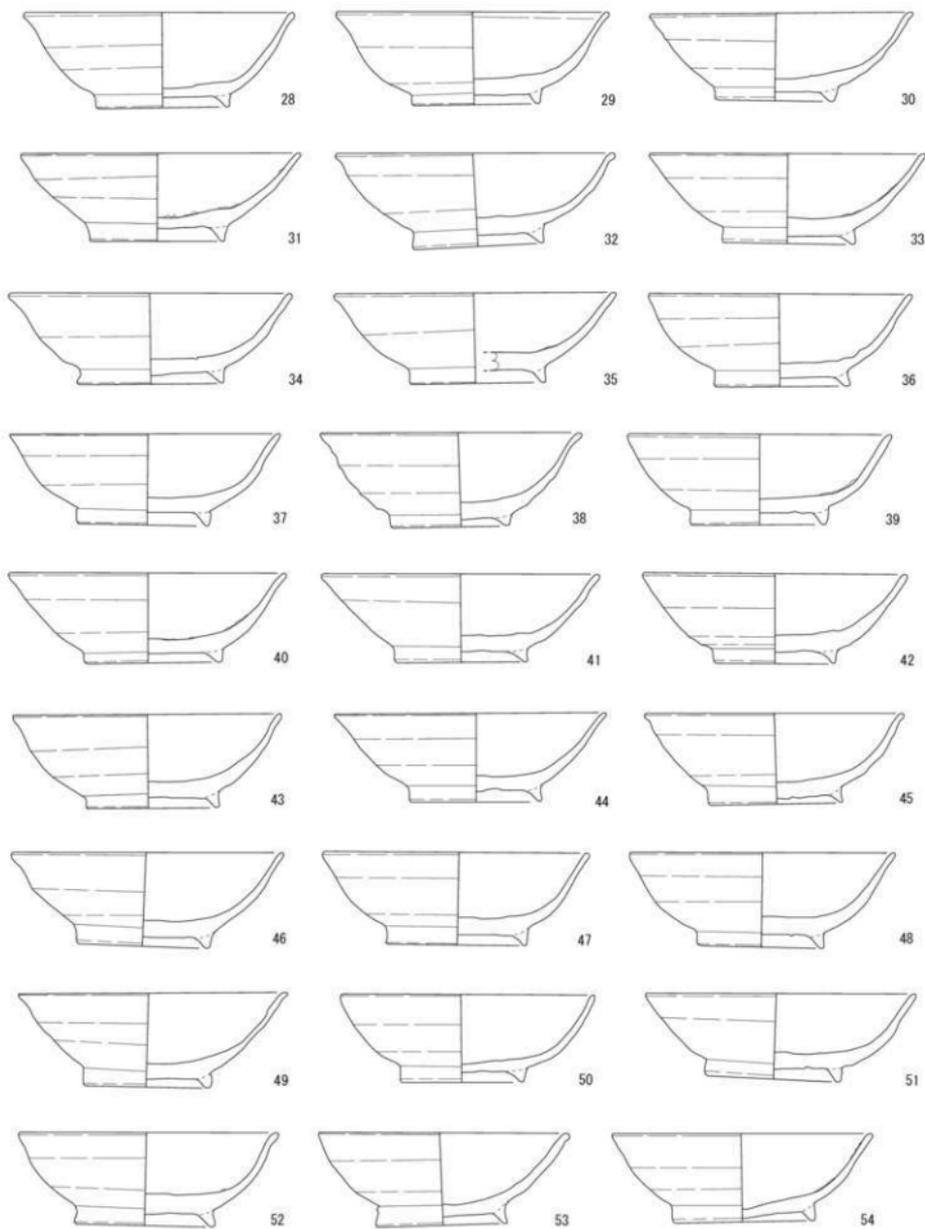


図9 ほうの木古窯跡出土遺物 2

0 S=1:3 10cm

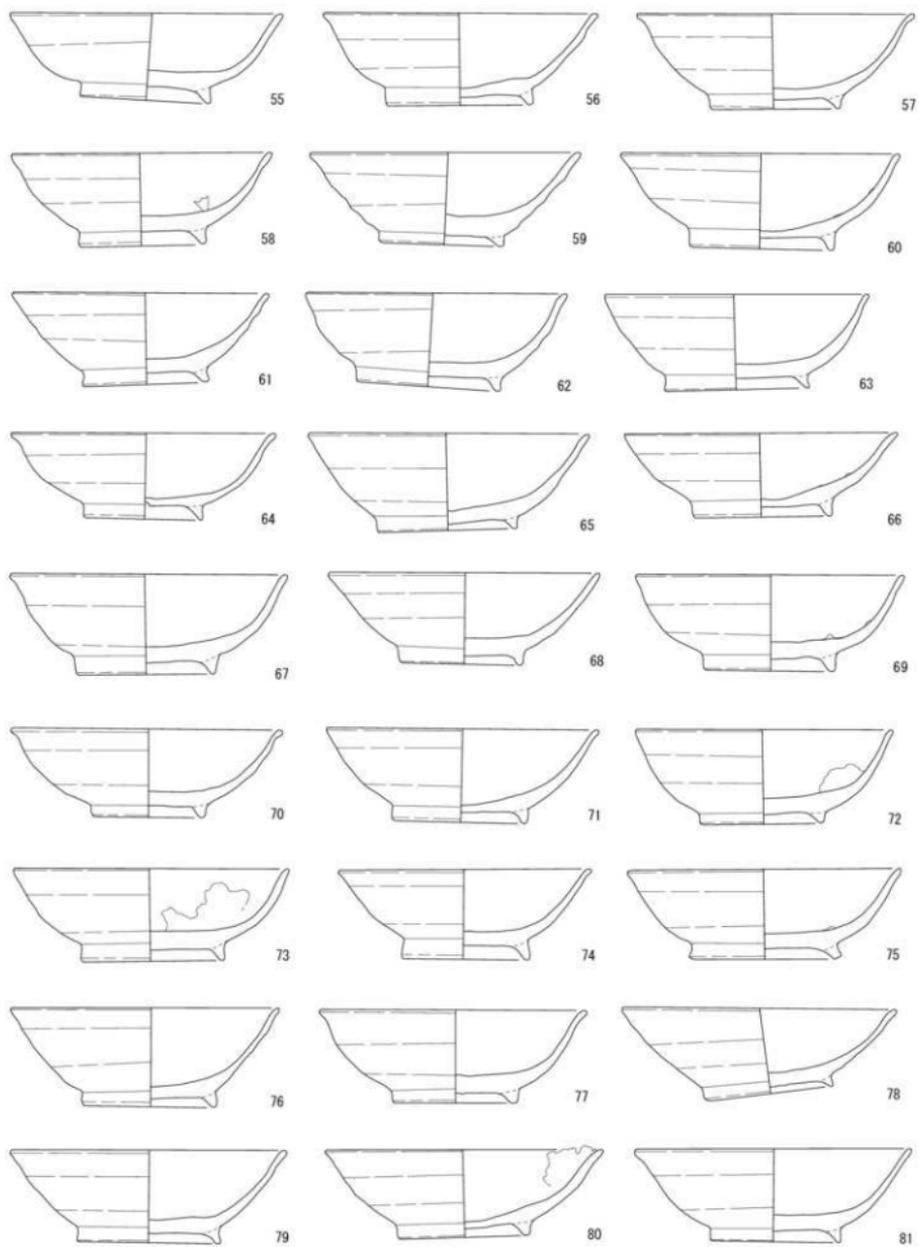


図10 ほうの木古窯跡出土遺物3

0 S=1:3 10cm

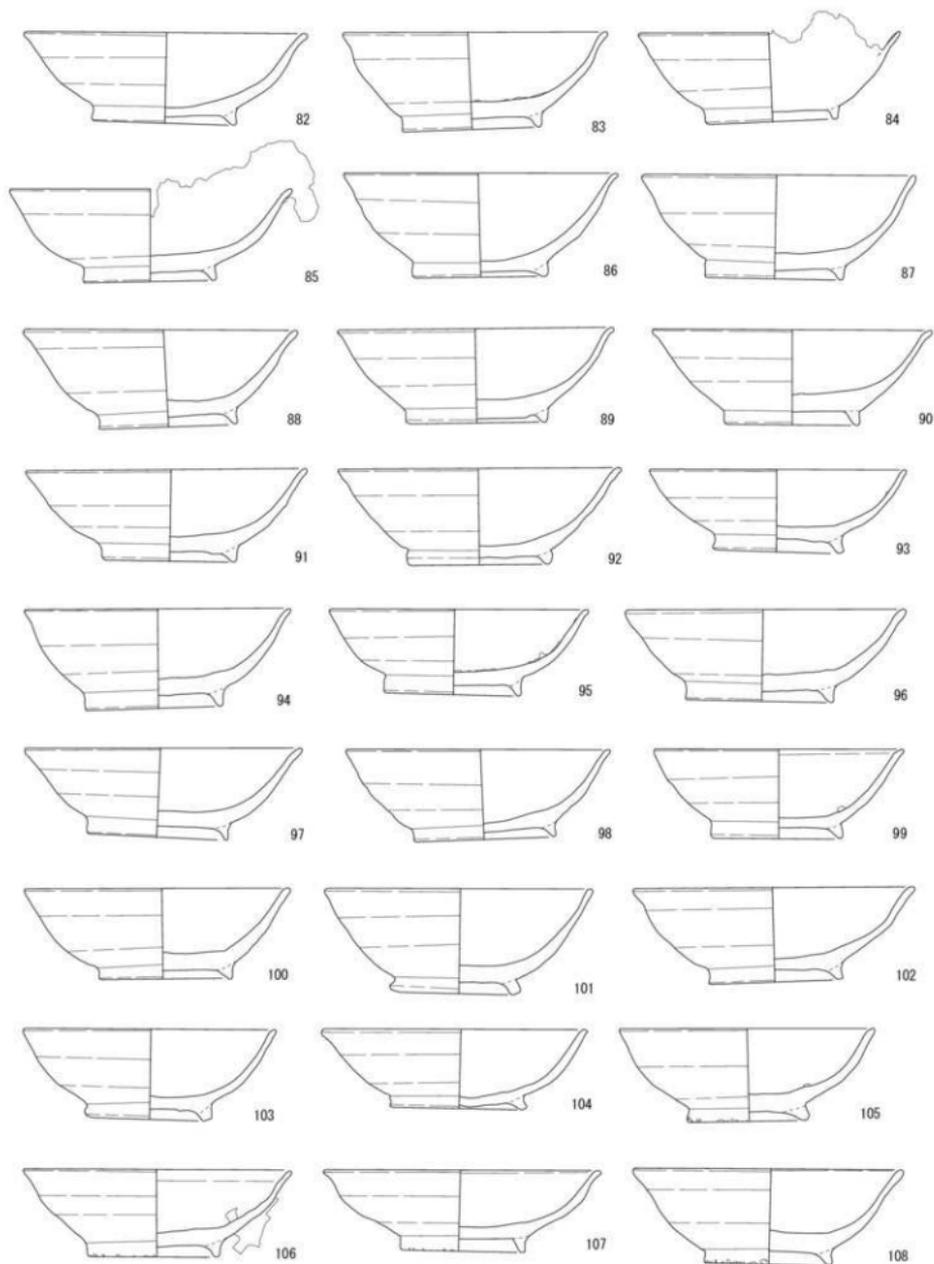


図 11 ほうの木古窯跡出土遺物 4



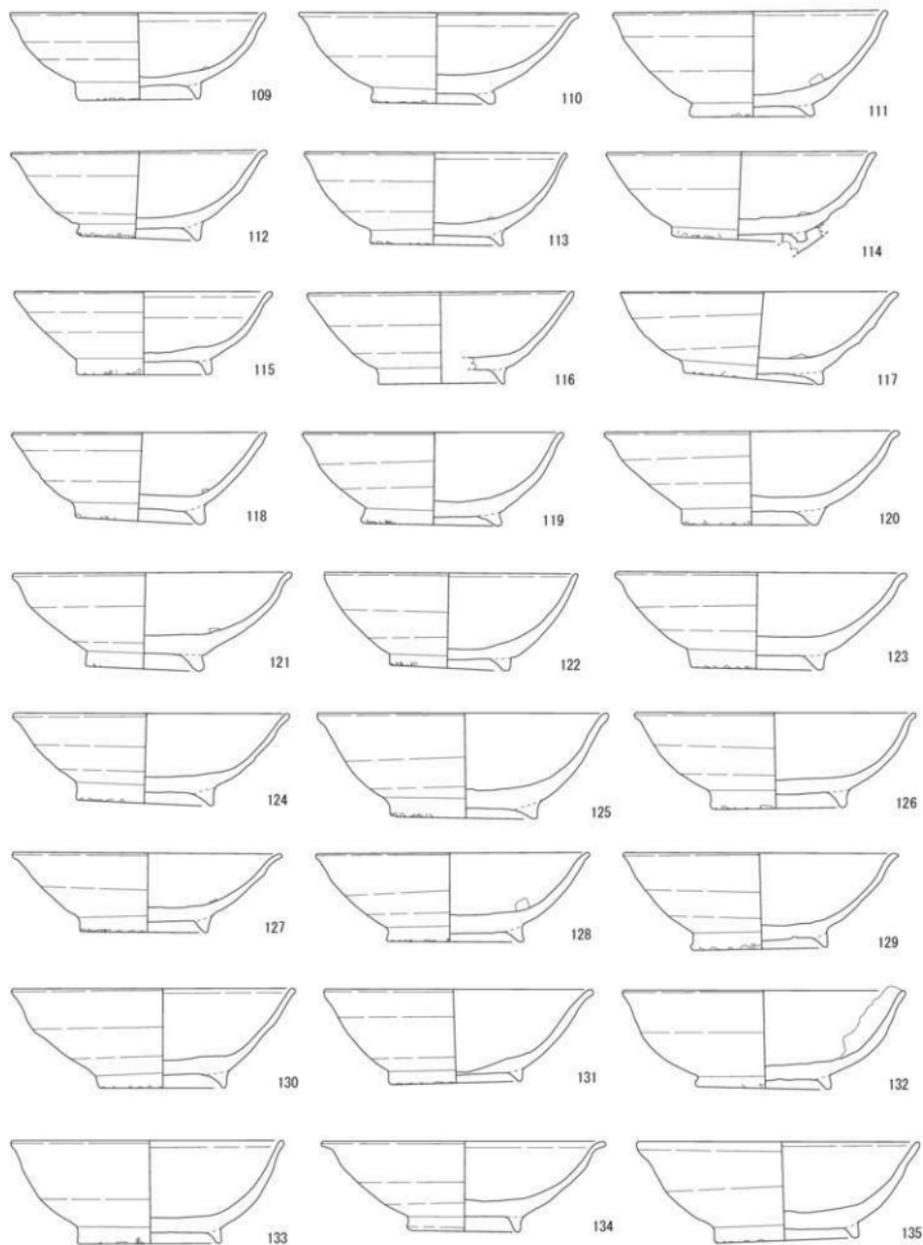


図 12 ほうの木古窯跡出土遺物 5

0 5 10cm
S=1:3

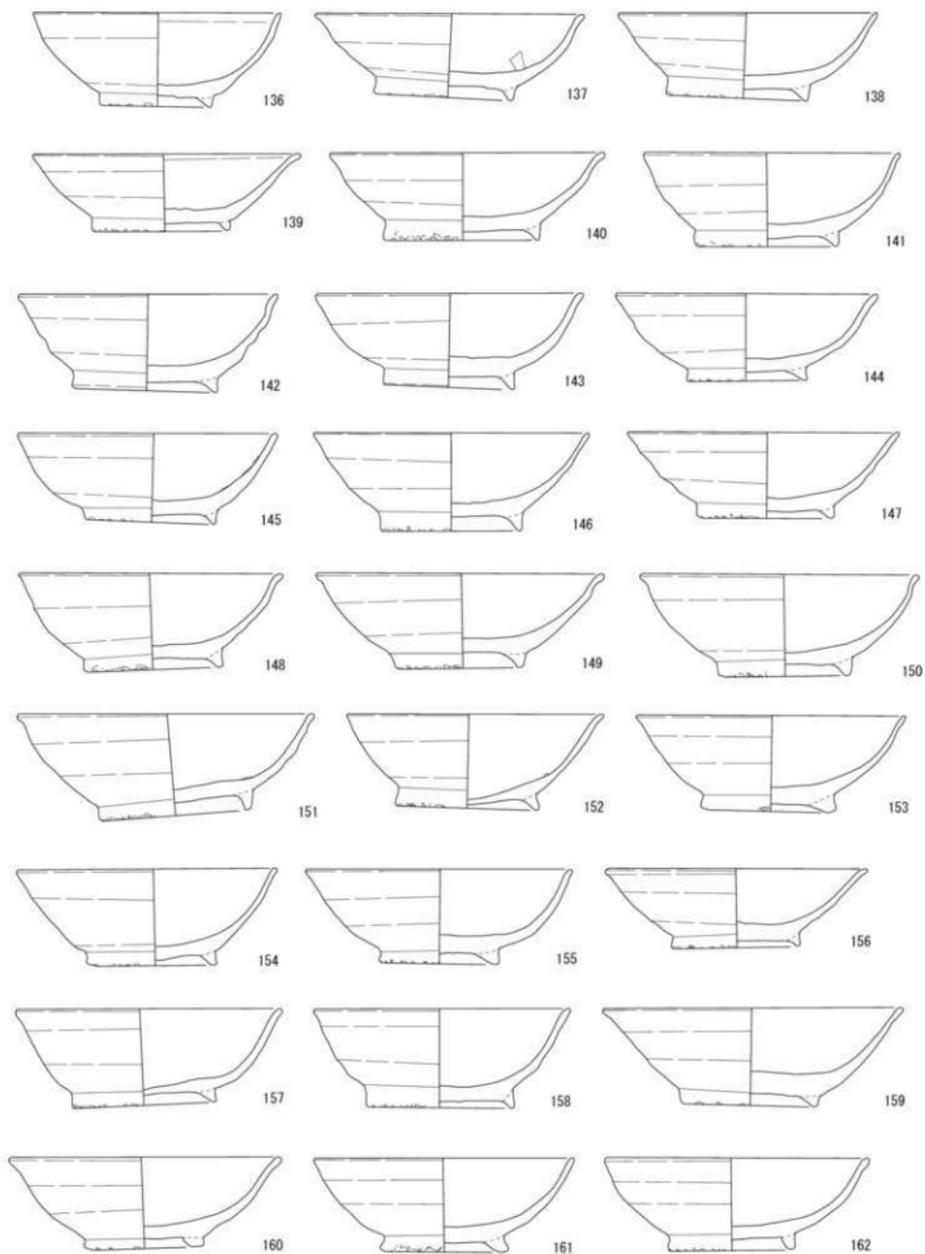


図 13 ほうの木古窯跡出土遺物 6

0 S=1:3 10cm

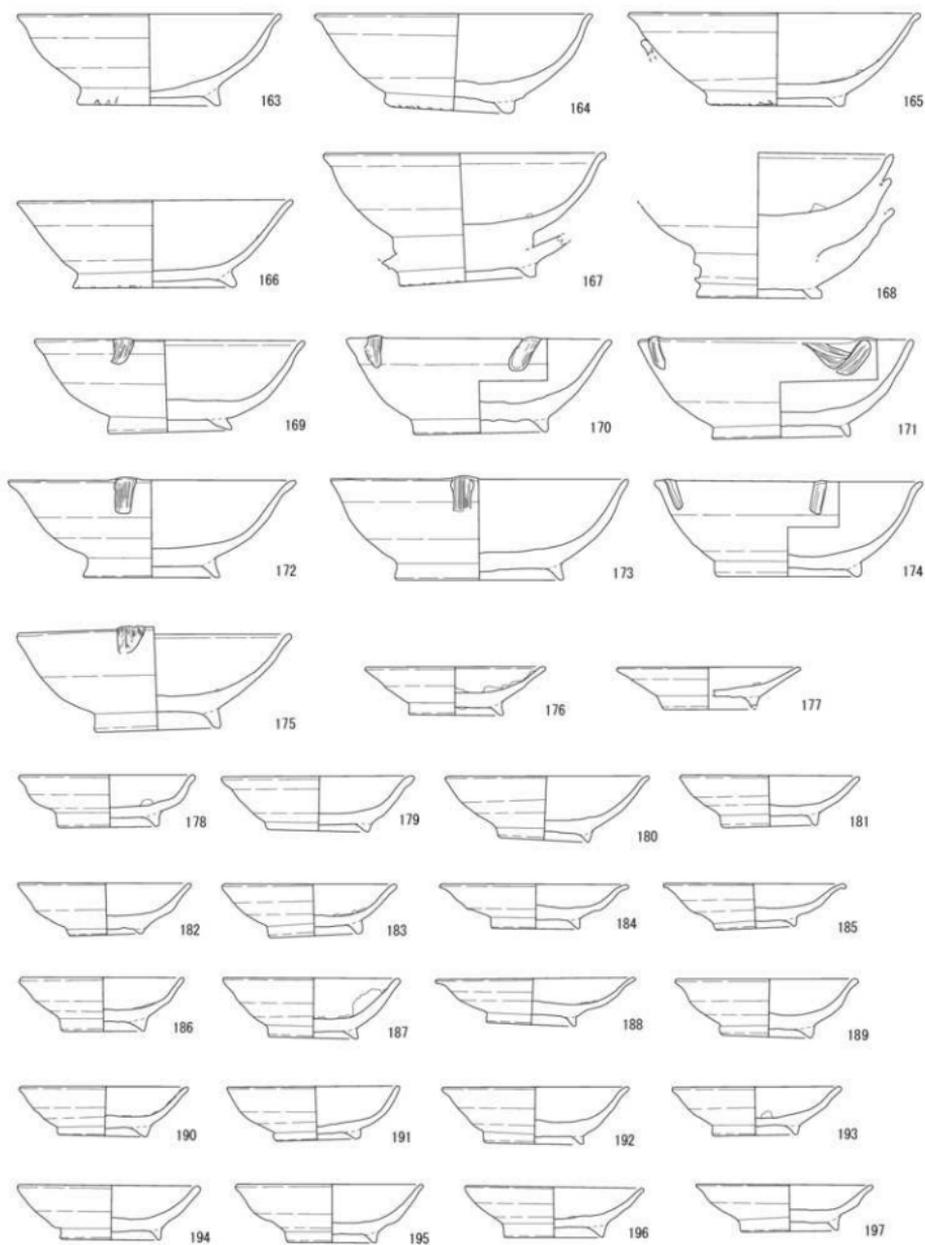
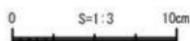


図 14 ほうの木古窯跡出土遺物 7



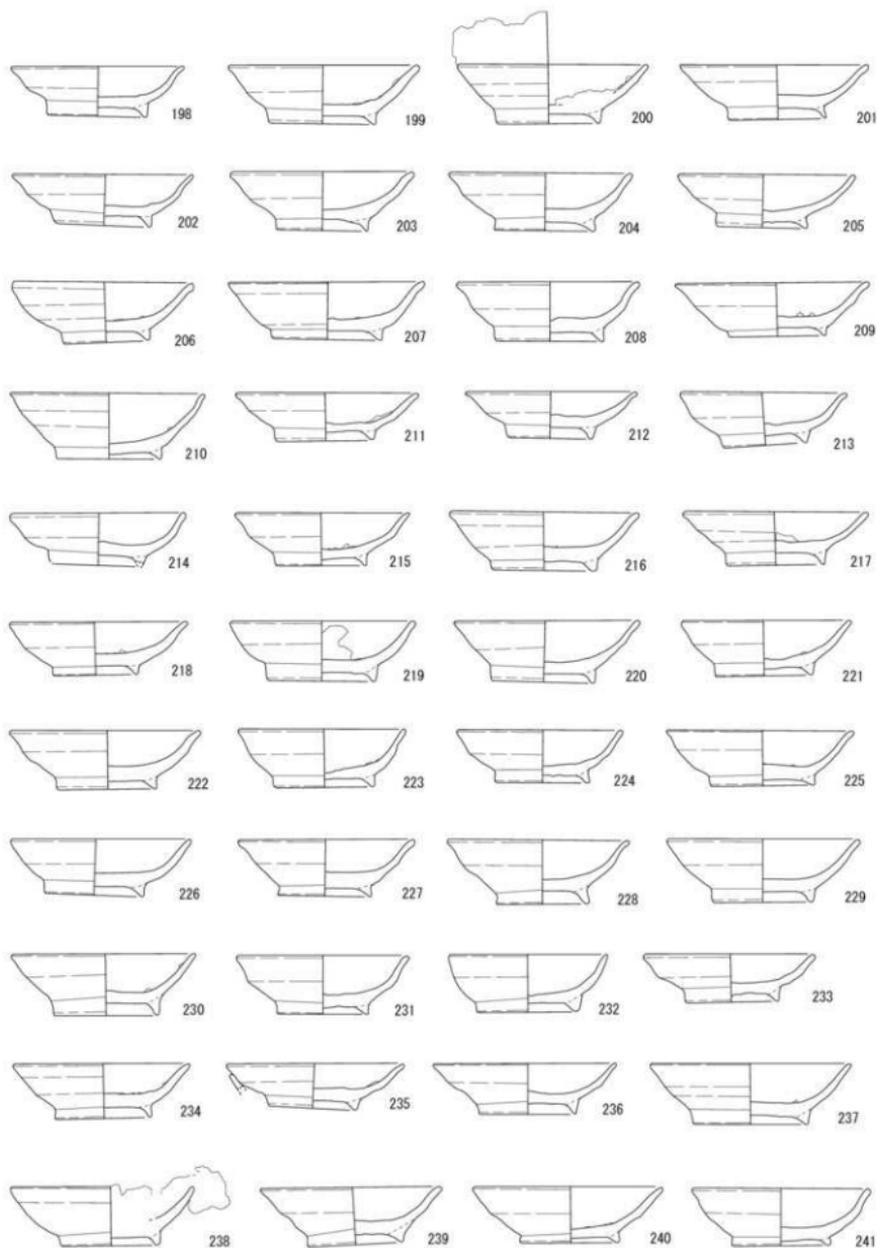


図 15 ほうの木古窯跡出土遺物 8

0 S=1:3 10cm

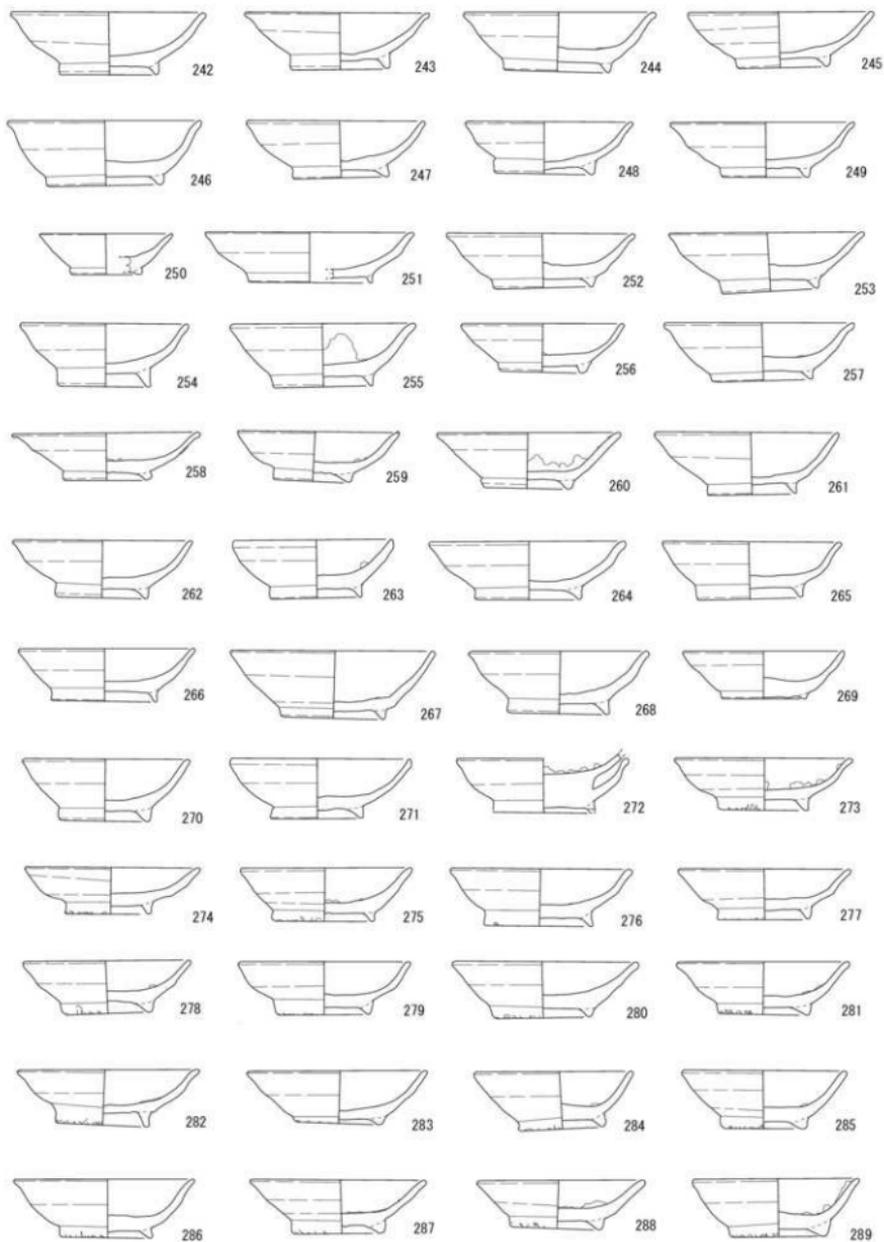


図 16 ほうの木古窯跡出土遺物 9



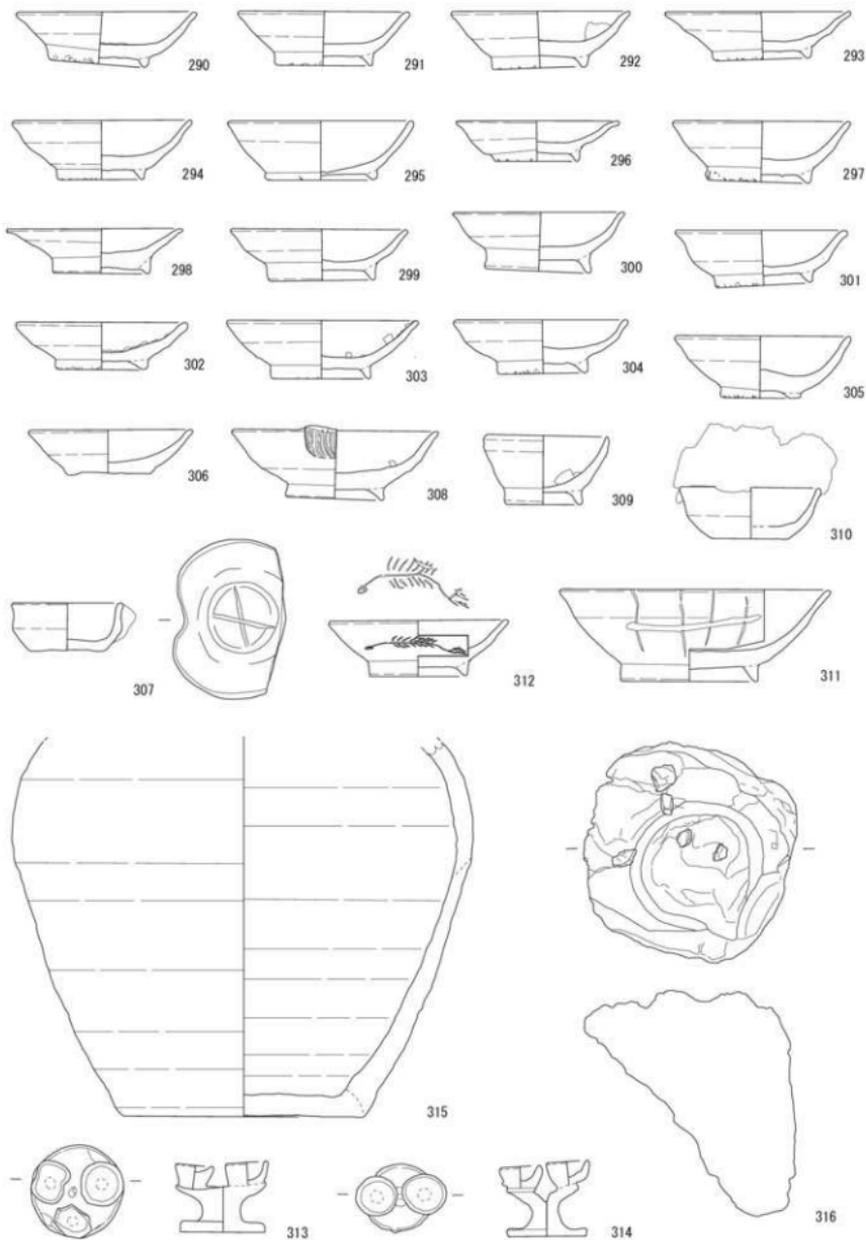


図 17 ほうの木古窯跡出土遺物 10

0 S=1:3 10cm

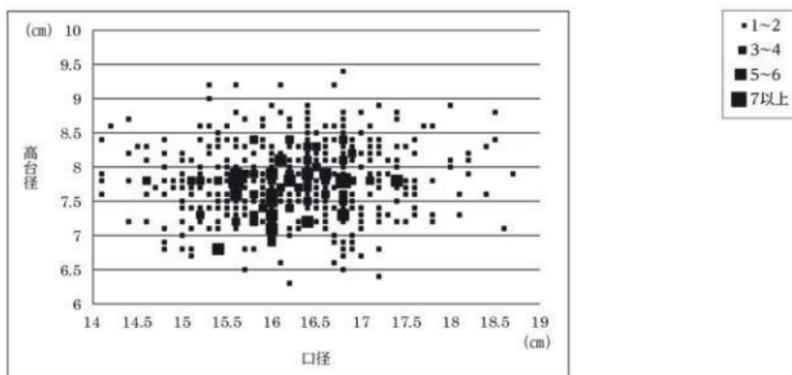


表3 モミガラ痕のない碗 計測表

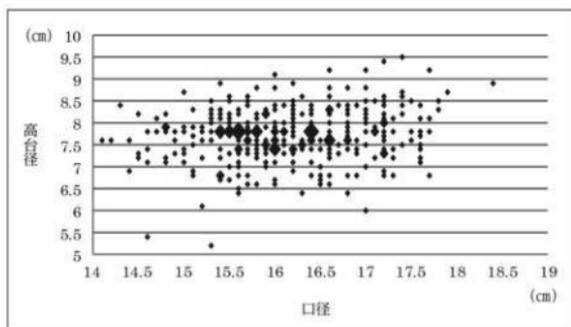


表4 モミガラ痕のある碗 計測表

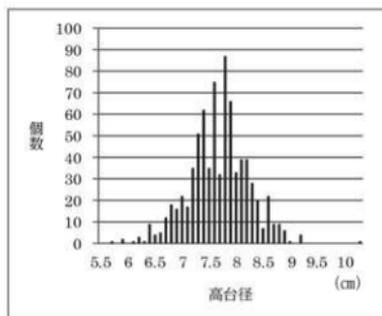


表5 モミガラ痕のない碗 高台計測表

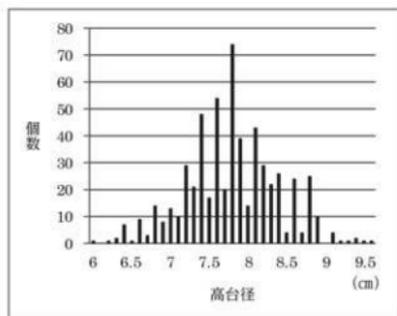


表6 モミガラ痕のある碗 高台計測表

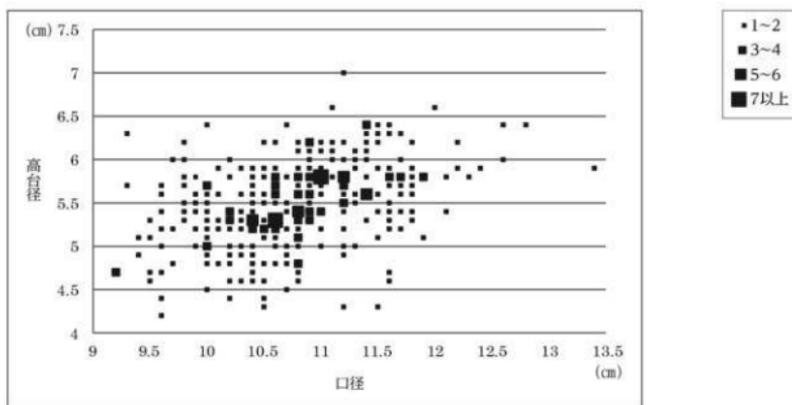


表7 モミガラ痕のない小皿 計測表

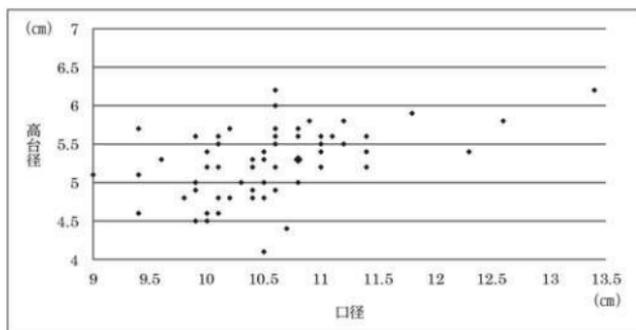


表8 モミガラ痕のある小皿 計測表

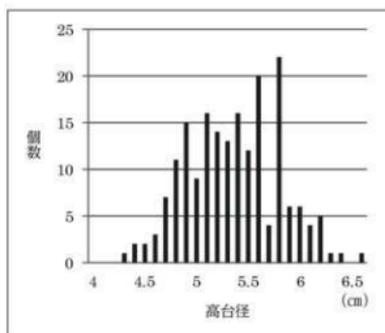


表9 モミガラ痕のない小皿 高台計測表

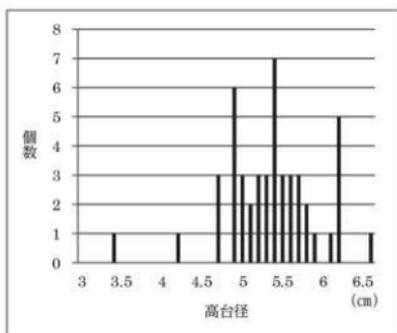


表10 モミガラ痕のある小皿 高台計測表

表 11 出土遺物観察表 1

| 図号・写真 | 種類 | 規格 | 口・径 | 高さ | 重量(単位) | 出土 | 形状 | 色 | 肌 | 材質(%) | 水切値 | 乾燥値 | その他 |
|-------|-----|----|------|-----|--------|----|----|-----------------|---|---------|-----|-------------------|-----|
| 1 | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.6 | 7.0 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内面に自然釉。 | |
| 2 | 山吹陶 | 碗 | 16.1 | 5.6 | 6.3 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 95 | ○ | 内面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 3 | 山吹陶 | 碗 | 16.8 | 5.9 | 7.9 | 窯 | 良好 | 内面 褐色 外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内面に自然釉。 | |
| 4 | 山吹陶 | 碗 | 16.2 | 5.6 | 7.9 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内面に自然釉。 | |
| 5 | 山吹陶 | 碗 | 16.1 | 5.7 | 7.7 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 6 | 山吹陶 | 碗 | 16.1 | 5.7 | 8.4 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 7 | 山吹陶 | 碗 | 15.9 | 5.7 | 8.4 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 8 | 山吹陶 | 碗 | 15.9 | 5.7 | 8.2 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 80 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 9 | 山吹陶 | 碗 | 15.7 | 5.0 | 7.4 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 55 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 10 | 山吹陶 | 碗 | 15.3 | 5.3 | 7.7 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 55 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 11 | 山吹陶 | 碗 | 15.6 | 5.3 | 8.5 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 40 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 12 | 山吹陶 | 碗 | 16.5 | 5.5 | 7.8 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 90 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 13 | 山吹陶 | 碗 | 15.4 | 6.3 | 7.9 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 40 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 14 | 山吹陶 | 碗 | 15.2 | 4.8 | 7.1 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 40 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 15 | 山吹陶 | 碗 | 16.2 | 5.7 | 7.9 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 16 | 山吹陶 | 碗 | 16.2 | 5.7 | 7.9 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 17 | 山吹陶 | 碗 | 16.5 | 5.6 | 8.0 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 18 | 山吹陶 | 碗 | 16.1 | 5.4 | 8.2 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 95 | ○ | 外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 19 | 山吹陶 | 碗 | 16.0 | 5.6 | 7.9 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 90 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 20 | 山吹陶 | 碗 | 15.6 | 5.1 | 7.4 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 90 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 21 | 山吹陶 | 碗 | 16.3 | 5.6 | 8.5 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 90 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 22 | 山吹陶 | 碗 | 15.7 | 6.1 | 8.2 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 90 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 23 | 山吹陶 | 碗 | 15.7 | 6.1 | 8.2 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 90 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 24 | 山吹陶 | 碗 | 17.0 | 6.1 | 8.1 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 75 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 25 | 山吹陶 | 碗 | 16.0 | 6.1 | 8.0 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 26 | 山吹陶 | 碗 | 16.8 | 5.7 | 8.4 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 45 | ○ | 内面に自然釉。 | |
| 27 | 山吹陶 | 碗 | 16.1 | 5.4 | 7.7 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 90 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 28 | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.8 | 7.9 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 70 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 29 | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.8 | 7.9 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 70 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 30 | 山吹陶 | 碗 | 15.9 | 5.4 | 7.3 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 31 | 山吹陶 | 碗 | 15.9 | 5.4 | 7.3 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 100 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 32 | 山吹陶 | 碗 | 17.0 | 5.4 | 7.0 | 窯 | 良好 | 内面 褐色 外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 75 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 33 | 山吹陶 | 碗 | 16.9 | 5.7 | 7.8 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 70 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 34 | 山吹陶 | 碗 | 16.5 | 5.5 | 7.7 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 70 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 35 | 山吹陶 | 碗 | 16.9 | 5.6 | 8.5 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 40 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 36 | 山吹陶 | 碗 | 16.9 | 5.5 | 7.9 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 37 | 山吹陶 | 碗 | 15.8 | 5.7 | 7.8 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 38 | 山吹陶 | 碗 | 15.8 | 5.7 | 7.8 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 39 | 山吹陶 | 碗 | 15.6 | 5.7 | 7.0 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 65 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 40 | 山吹陶 | 碗 | 15.8 | 5.5 | 8.0 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 90 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 41 | 山吹陶 | 碗 | 16.6 | 5.5 | 7.8 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 95 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 42 | 山吹陶 | 碗 | 16.6 | 5.4 | 7.7 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 65 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 43 | 山吹陶 | 碗 | 15.8 | 5.5 | 7.2 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 45 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 44 | 山吹陶 | 碗 | 16.1 | 5.7 | 7.6 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 90 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 45 | 山吹陶 | 碗 | 16.3 | 5.4 | 7.5 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 46 | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.7 | 7.7 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 47 | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.7 | 7.7 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 48 | 山吹陶 | 碗 | 16.0 | 5.6 | 8.2 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 95 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 49 | 山吹陶 | 碗 | 16.0 | 5.7 | 7.3 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 50 | 山吹陶 | 碗 | 16.1 | 5.7 | 7.4 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 51 | 山吹陶 | 碗 | 16.3 | 5.3 | 7.2 | 窯 | 良好 | 内面 灰白色 外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 52 | 山吹陶 | 碗 | 16.3 | 5.3 | 7.9 | 窯 | 良好 | 内面 灰白色 外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 53 | 山吹陶 | 碗 | 14.9 | 5.6 | 7.2 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 85 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |
| 54 | 山吹陶 | 碗 | 14.9 | 5.6 | 7.2 | 窯 | 良好 | 内・外・断面 灰白色 | 内 | 高台部 75 | ○ | 内外面に自然釉。裏ね焼きの痕あり。 | |

表 12 出土遺物観察表 2

| 図号 | 宝号 | 種類 | 規格 | 口 | 径 | 高さ | 重さ(単位) | 出土 | 材質 | 色 | 目 | 測定値 (%) | 水切痕 | 特徴 | 備考 |
|-----|----|-----|----|--------|-----|-------|--------|------|----|----------------|---|---------|-----|------------------------------|----|
| 54 | | 山吹陶 | 碗 | 15.6 | 5.4 | 6.3 | 0.7 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 55 | | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの一番上の胴体。 | |
| 55 | | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.2 | 7.5 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 56 | | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 56 | | 山吹陶 | 碗 | (16.4) | 5.6 | (8.5) | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 85 | | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 57 | | 山吹陶 | 碗 | (16.7) | 5.8 | 7.6 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 70 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 58 | | 山吹陶 | 碗 | (15.7) | 5.6 | 7.3 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 25 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 59 | | 山吹陶 | 碗 | 16.2 | 5.7 | 7.1 | 0.8 | やや不良 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 90 | | 内外面に自然釉。 | |
| 60 | | 山吹陶 | 碗 | 16.2 | 5.9 | 8.1 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 100 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの痕あり。 | |
| 61 | | 山吹陶 | 碗 | 15.4 | 5.5 | 7.2 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 60 | | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 62 | | 山吹陶 | 碗 | 15.7 | 5.6 | (8.4) | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 65 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 63 | | 山吹陶 | 碗 | 15.9 | 5.8 | 8.6 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 65 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 64 | | 山吹陶 | 碗 | 15.9 | 5.2 | 7.0 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 60 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 65 | | 山吹陶 | 碗 | (17.0) | 6.0 | 8.0 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内面 黄白色・外・断面 灰色 | | 測定値 55 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 66 | | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.1 | 10.0 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内面 黄白色・外・断面 灰色 | | 測定値 95 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの痕あり。 | |
| 67 | | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.5 | 7.0 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 70 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 68 | | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.5 | 7.1 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 75 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 69 | | 山吹陶 | 碗 | 16.2 | 5.9 | (7.7) | 0.8 | 良好 | 良好 | 内面 黄白色・外・断面 灰色 | | 測定値 55 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの痕あり。 | |
| 70 | | 山吹陶 | 碗 | 16.2 | 5.4 | 6.6 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 70 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 71 | | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.7 | 7.8 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 70 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 72 | | 山吹陶 | 碗 | 15.5 | 5.7 | 7.2 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 90 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの痕あり。 | |
| 73 | | 山吹陶 | 碗 | 16.6 | 5.6 | 8.4 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 75 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 74 | | 山吹陶 | 碗 | 15.2 | 5.5 | 7.3 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 90 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 75 | | 山吹陶 | 碗 | 16.2 | 5.5 | 6.9 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 85 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 76 | | 山吹陶 | 碗 | 16.2 | 6.0 | 7.8 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 85 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 77 | | 山吹陶 | 碗 | 15.9 | 5.6 | 7.2 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 80 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 78 | | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.3 | 7.4 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 80 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの痕あり。 | |
| 79 | | 山吹陶 | 碗 | (16.4) | 5.7 | 6.4 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 90 | ○ | 内外面に自然釉。他の土が付くが腐蝕。 | |
| 80 | | 山吹陶 | 碗 | 16.7 | 5.3 | 7.6 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 95 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの痕あり。 | |
| 81 | | 山吹陶 | 碗 | 16.6 | 5.6 | 7.6 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 100 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 82 | | 山吹陶 | 碗 | 15.2 | 5.5 | 7.3 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 90 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの一番上の胴体。 | |
| 83 | | 山吹陶 | 碗 | (15.9) | 5.9 | (8.2) | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 95 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの一番上の胴体。 | |
| 84 | | 山吹陶 | 碗 | 15.8 | 5.4 | 7.6 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 100 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの一番上の胴体。 | |
| 85 | | 山吹陶 | 碗 | 17.1 | 5.7 | 7.7 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内面 黄白色・外・断面 灰色 | | 測定値 75 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの一番上の胴体。 | |
| 86 | | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 6.4 | 7.9 | 0.8 | やや不良 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 90 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 87 | | 山吹陶 | 碗 | 16.3 | 6.3 | 8.1 | 0.8 | やや不良 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 90 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 88 | | 山吹陶 | 碗 | 16.4 | 5.9 | (8.2) | 0.8 | やや不良 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 40 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 89 | | 山吹陶 | 碗 | (16.5) | 5.7 | 8.2 | 0.8 | やや不良 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 70 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 90 | | 山吹陶 | 碗 | (16.9) | 5.6 | (7.8) | 0.8 | やや不良 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 55 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 91 | | 山吹陶 | 碗 | (16.9) | 5.9 | 8.2 | 0.8 | やや不良 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 60 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 92 | | 山吹陶 | 碗 | (16.9) | 5.9 | 8.2 | 0.8 | やや不良 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 60 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 93 | | 山吹陶 | 碗 | (15.4) | 4.9 | (7.4) | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 45 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの一番上の胴体。 | |
| 94 | | 山吹陶 | 碗 | (16.0) | 6.0 | 8.0 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 95 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 95 | | 山吹陶 | 碗 | 15.4 | 5.2 | 8.0 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 70 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの一番上の胴体。 | |
| 96 | | 山吹陶 | 碗 | 16.8 | 5.6 | 8.8 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 75 | ○ | 内外面に自然釉。平口が行なうする要ね焼きの一番上の胴体。 | |
| 97 | | 山吹陶 | 碗 | 16.3 | 5.5 | 8.4 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内面 黄白色・外・断面 灰色 | | 測定値 60 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 98 | | 山吹陶 | 碗 | 16.3 | 5.5 | 8.4 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内面 黄白色・外・断面 灰色 | | 測定値 60 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 99 | | 山吹陶 | 碗 | 15.1 | 5.5 | 7.7 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 95 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 100 | | 山吹陶 | 碗 | 16.0 | 6.3 | 6.9 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 95 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 101 | | 山吹陶 | 碗 | 16.0 | 5.5 | 7.9 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 60 | ○ | 内外面に自然釉。 | |
| 102 | | 山吹陶 | 碗 | 16.9 | 5.7 | 7.6 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 100 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 103 | | 山吹陶 | 碗 | 15.1 | 5.5 | 6.7 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 55 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 104 | | 山吹陶 | 碗 | 15.8 | 4.8 | 7.7 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 70 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 105 | | 山吹陶 | 碗 | (16.4) | 5.5 | 7.1 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 灰色 | | 測定値 90 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |
| 106 | | 山吹陶 | 碗 | (16.1) | 5.3 | 7.8 | 0.8 | 良好 | 良好 | 内・外・断面 黄白色 | | 測定値 50 | ○ | 内外面に自然釉。要ね焼きの痕あり。 | |

表 13 出土遺物観察表 3

| 図号 | 宝器 | 種類 | 規格 | 口 | 径 | 柄 | 高さ | 通孔(単位) | 胎土 | 胎色 | 色 | 目 | 用灰率 (%) | 水切痕 | 修飾痕 | その他 | 備 |
|-----|----|----|----|--------|-------|-------|----|--------|------|--------|-----|--------|---------|-----|-----|-----------------------------------|---|
| 107 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (16.5) | 4.9 | 7.3 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼 | |
| 108 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (16.2) | 5.8 | 7.5 | 56 | | 良好 | 内面 | 黄灰色 | 断面 灰白色 | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼 | |
| 109 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (15.3) | 5.3 | 7.3 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 断面 黄灰色 | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼 | |
| 110 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.6 | 6.6 | 6.9 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 断面 黄灰色 | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼 | |
| 111 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.4 | 6.4 | 7.2 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 112 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (15.8) | 5.3 | 7.0 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 113 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (16.2) | 5.3 | 7.0 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、土粒が粗密。 | |
| 114 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.2 | 5.3 | 7.6 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 75 | ○ | ○ | 内面の一部分に自然焼。 | |
| 115 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.5 | 5.1 | 7.6 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 60 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 116 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.0 | 5.6 | 7.5 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 40 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、平口が付する裏面焼きの一番上の部分。 | |
| 117 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (16.8) | 6.8 | (9.0) | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 90 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 118 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.3 | 5.4 | 7.2 | 56 | | 良好 | 内面 | 黄灰色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 119 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.8 | 5.7 | 7.1 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 120 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.9 | 5.8 | 6.9 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 55 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 121 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.9 | 5.8 | 6.9 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 55 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 122 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.2 | 5.8 | 6.8 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 123 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 17.5 | 5.9 | 7.7 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 124 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.6 | 5.5 | 8.2 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 65 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 125 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (17.5) | 6.4 | 8.4 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 126 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.9 | 5.8 | 7.8 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 127 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.2 | 4.8 | 7.5 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 70 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 128 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.4 | 4.8 | 8.0 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 70 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 129 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.4 | 5.8 | 8.0 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 60 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 130 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 17.0 | 6.0 | 7.5 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 131 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.0 | 5.7 | 7.8 | 56 | | 良好 | 内面 | 黄灰色 | 断面 灰白色 | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 132 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (17.0) | (9.0) | 7.8 | 56 | | 良好 | 内面 | 黄灰色 | 断面 灰白色 | 90 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、平口が付する裏面焼きの一番上の部分。 | |
| 133 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (16.4) | 6.3 | 8.4 | 56 | | 良好 | 内面 | 黄灰色 | 断面 灰白色 | 80 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 134 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (17.0) | 5.5 | 6.4 | 56 | | 良好 | 内面 | 灰白色 | 断面 黄灰色 | 90 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 135 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 14.9 | 5.7 | 6.5 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 136 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 14.9 | 5.7 | 6.5 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 137 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.2 | 5.1 | 8.1 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 70 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 138 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.6 | 5.2 | 8.3 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 106 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 139 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.1 | 4.7 | 8.0 | 56 | | やや不具 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 65 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、土器片が粗密、平口が付する裏面焼きの一番上の部分。 | |
| 140 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.6 | 5.3 | 9.2 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 141 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.5 | 5.7 | 8.4 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 142 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.5 | 5.9 | 9.5 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 105 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 143 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.8 | 5.3 | 7.1 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、平口が付する裏面焼きの痕あり。 | |
| 144 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (15.6) | 5.4 | 7.6 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 106 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、平口が付する裏面焼きの痕あり。 | |
| 145 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (16.6) | 5.9 | 8.3 | 56 | | やや不具 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 75 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 147 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (16.3) | 5.2 | 7.7 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 148 | 山塚 | 山塚 | 碗 | (15.6) | 5.8 | (7.9) | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 149 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 17.2 | 5.8 | 7.2 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 150 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 17.2 | 5.8 | 7.2 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 151 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 17.2 | 6.2 | 6.8 | 56 | | やや不具 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 65 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 152 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.4 | 5.7 | 8.4 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 153 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 16.2 | 5.8 | 7.2 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 154 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.6 | 5.8 | 7.0 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 95 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 155 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.7 | 4.8 | 7.8 | 56 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 100 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 157 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 15.9 | 5.8 | 8.5 | 56 | | 良好 | 内面 | 黄灰色 | 断面 灰白色 | 95 | ○ | ○ | 内外面に自然焼、裏面焼きの痕あり。 | |
| 158 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 13.4 | 5.0 | 9.8 | 56 | | やや不具 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 95 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |
| 159 | 山塚 | 山塚 | 碗 | 18.0 | 5.9 | 7.8 | 56 | | やや不具 | 内・外・断面 | 灰白色 | | 70 | ○ | ○ | 内外面に自然焼。 | |

表 15 出土遺物観察表 5

| 図録番号 | 発掘地 | 層位 | 形状 | 土質 | 色 | 目 | 重量(単位:g) | 口 径 | 柄 | 柄高(単位:cm) | 口径 | 底径 | 水切痕 | 観察値 | 備考 |
|------|-----|----|----|----|--------|----|----------|------|-----|-----------|----|----|-----|---------|-----------------------------|
| 213 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.3 | 9.9 | 3.3 | (4.9) | 0 | 0 | 0 | 口径部 75 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 214 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.2 | 10.4 | 3.2 | (5.4) | 0 | 0 | 0 | 口径部 85 | 内外面に自然焼。内外面に自然焼きの一番上の面体。 |
| 215 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.4 | 11.2 | 3.4 | (5.4) | 0 | 0 | 0 | 口径部 100 | 内外面に自然焼。内面にネロが付着する。 |
| 216 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 11.0 | 3.6 | (5.9) | 0 | 0 | 0 | 口径部 100 | 内外面に自然焼。内面にネロが付着する。 |
| 217 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.3 | 11.0 | 3.3 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 口径部 85 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 218 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.2 | 10.6 | 3.2 | (5.0) | 0 | 0 | 0 | 口径部 60 | 内外面に自然焼。内面にネロが付着する。 |
| 219 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.2 | 10.6 | 3.2 | (5.0) | 0 | 0 | 0 | 口径部 60 | 内外面に自然焼。内面にネロが付着する。 |
| 220 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 11.0 | 3.6 | (6.0) | 0 | 0 | 0 | 口径部 100 | 内外面に自然焼。内面にネロが付着する。 |
| 221 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.4 | 10.0 | 3.4 | (5.7) | 0 | 0 | 0 | 高部 85 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 222 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 11.4 | 3.6 | (5.8) | 0 | 0 | 0 | 高部 100 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 223 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 11.0 | 3.6 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 高部 100 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 224 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.3 | 10.4 | 3.3 | (5.4) | 0 | 0 | 0 | 口径部 60 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 225 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.4 | 11.1 | 3.4 | (5.4) | 0 | 0 | 0 | 口径部 95 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 226 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.4 | 10.6 | 3.4 | (5.5) | 0 | 0 | 0 | 口径部 95 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 227 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.2 | 10.6 | 3.2 | (5.0) | 0 | 0 | 0 | 口径部 60 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 228 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.4 | 10.9 | 3.4 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 口径部 95 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 229 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.9 | 11.5 | 3.9 | (6.6) | 0 | 0 | 0 | 高部 90 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 230 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.8 | 11.0 | 3.8 | (6.3) | 0 | 0 | 0 | 高部 95 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 231 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 10.9 | 3.6 | (5.4) | 0 | 0 | 0 | 口径部 60 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 232 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.5 | 10.7 | 3.5 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 口径部 75 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 233 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.5 | 10.9 | 3.5 | (5.9) | 0 | 0 | 0 | 口径部 45 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 234 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.0 | 10.1 | 3.0 | (5.5) | 0 | 0 | 0 | 口径部 75 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 235 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.2 | 10.6 | 3.2 | (5.2) | 0 | 0 | 0 | 口径部 70 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 236 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.1 | 10.6 | 3.1 | (5.7) | 0 | 0 | 0 | 口径部 70 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 237 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.7 | 11.0 | 3.7 | (6.8) | 0 | 0 | 0 | 口径部 55 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 238 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 10.9 | 3.6 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 高部 50 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 239 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.5 | 10.9 | 3.5 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 高部 60 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 240 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.4 | 11.3 | 3.4 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 高部 100 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 241 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.4 | 11.3 | 3.4 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 高部 100 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 242 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 11.2 | 3.6 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 高部 95 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 243 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.5 | 10.9 | 3.5 | (5.8) | 0 | 0 | 0 | 高部 95 | 内外面に自然焼。内面にネロが付着する。 |
| 244 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 11.3 | 3.6 | (6.2) | 0 | 0 | 0 | 高部 85 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 245 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.4 | 10.9 | 3.4 | (5.3) | 0 | 0 | 0 | 高部 100 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 246 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 4.0 | 11.5 | 4.0 | (6.5) | 0 | 0 | 0 | 高部 90 | 柄きやややがしい。 |
| 247 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.5 | 10.5 | 3.5 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 高部 85 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 248 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.2 | 9.9 | 3.2 | (5.7) | 0 | 0 | 0 | 口径部 35 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 249 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 11.2 | 3.6 | (5.7) | 0 | 0 | 0 | 口径部 60 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 250 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 2.5 | 7.9 | 2.5 | (4.0) | 0 | 0 | 0 | 口径部 35 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 251 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.1 | 10.9 | 3.1 | (7.3) | 0 | 0 | 0 | 口径部 100 | 内外面に自然焼。内面にネロが付着する。 |
| 252 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.3 | 11.1 | 3.3 | (5.7) | 0 | 0 | 0 | 高部 50 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 253 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 11.5 | 3.6 | (5.7) | 0 | 0 | 0 | 高部 60 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 254 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.9 | 10.9 | 3.9 | (5.3) | 0 | 0 | 0 | 高部 100 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 255 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.9 | 10.9 | 3.9 | (5.6) | 0 | 0 | 0 | 高部 45 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 256 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.0 | 10.9 | 3.0 | (4.9) | 0 | 0 | 0 | 高部 100 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 257 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.2 | 11.0 | 3.2 | (5.0) | 0 | 0 | 0 | 高部 100 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 258 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 2.9 | 11.2 | 2.9 | (4.9) | 0 | 0 | 0 | 口径部 80 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 259 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.0 | 10.9 | 3.0 | (4.5) | 0 | 0 | 0 | 口径部 80 | 内外面に自然焼。内面にネロが付着する。 |
| 260 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.4 | 10.9 | 3.4 | (4.9) | 0 | 0 | 0 | 口径部 80 | 内外面に自然焼。ネロが付着する裏面焼きの一番上の面体。 |
| 261 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.8 | 11.0 | 3.8 | (5.3) | 0 | 0 | 0 | 高部 70 | 内外面に自然焼。内面にネロが付着する。 |
| 262 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.5 | 10.7 | 3.5 | (5.4) | 0 | 0 | 0 | 高部 75 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 263 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.6 | 10.6 | 3.6 | (5.3) | 0 | 0 | 0 | 口径部 80 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 264 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.1 | 10.6 | 3.1 | (5.1) | 0 | 0 | 0 | 高部 90 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |
| 265 | 山塚塚 | 小皿 | 良好 | 灰色 | 内・外・新掘 | 灰色 | 3.5 | 10.6 | 3.5 | (6.2) | 0 | 0 | 0 | 高部 90 | 内外面に自然焼。裏面焼きの痕あり。 |

表 16 出土遺物観察表 6

| 図録 | 写真 | 種類 | 規格 | 口 | 径 | 柄 | 高さ | 重さ(単位) | 出土 | 形状 | 色 | 肌 | 焼成率 | 特徴 | 備考 |
|-----|-----|-----|----|-----------------|-----|--------|------|--------|----|--------|-----|------|---------|----------------------------|----|
| 264 | 264 | 山吹焼 | 小皿 | 10.5 | 3.2 | 6.2 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 65 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 265 | 265 | 山吹焼 | 小皿 | 12.2 | 4.2 | (6.1) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 65 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 268 | 268 | 山吹焼 | 小皿 | 10.7 | 3.8 | 5.8 | | | 良好 | 内面 | 灰白色 | 外・断面 | 灰色 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 269 | 269 | 山吹焼 | 小皿 | 9.6 | 2.9 | 5.0 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 65 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 270 | 270 | 山吹焼 | 小皿 | (9.9) | 3.8 | (5.2) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 40 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 271 | 271 | 山吹焼 | 小皿 | (10.7) | 3.8 | (5.4) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 20 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 272 | 272 | 山吹焼 | 小皿 | (11.2) | 3.8 | (5.3) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 90 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 273 | 273 | 山吹焼 | 小皿 | 10.5 | 3.1 | 5.1 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 96 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 274 | 274 | 山吹焼 | 小皿 | 10.0 | 3.3 | 5.8 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 80 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 275 | 275 | 山吹焼 | 小皿 | 10.0 | 3.5 | 6.4 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 95 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 276 | 276 | 山吹焼 | 小皿 | 10.2 | 3.1 | 5.4 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 80 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 277 | 277 | 山吹焼 | 小皿 | 10.0 | 3.3 | 5.1 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 80 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 278 | 278 | 山吹焼 | 小皿 | 11.0 | 3.4 | 5.6 | | | 良好 | 内面 | 灰白色 | 外・断面 | 灰色 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 279 | 279 | 山吹焼 | 小皿 | 11.0 | 3.2 | 5.3 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 100 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 280 | 280 | 山吹焼 | 小皿 | 10.8 | 3.4 | 5.4 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 肌 | 焼成率 85 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 282 | 282 | 山吹焼 | 小皿 | 10.7 | 3.2 | 5.0 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 肌 | 焼成率 85 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 283 | 283 | 山吹焼 | 小皿 | 9.4 | 3.6 | 4.9 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 100 | 内外面に自然釉。内面に平口が付する。 | |
| 284 | 284 | 山吹焼 | 小皿 | 9.8 | 3.5 | 4.8 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 95 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 285 | 285 | 山吹焼 | 小皿 | 10.8 | 3.5 | 4.8 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 100 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 286 | 286 | 山吹焼 | 小皿 | 9.9 | 3.5 | 5.3 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 40 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 287 | 287 | 山吹焼 | 小皿 | 10.2 | 3.3 | 5.3 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 95 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 288 | 288 | 山吹焼 | 小皿 | 9.9 | 3.0 | (5.2) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 95 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 289 | 289 | 山吹焼 | 小皿 | 9.9 | 3.6 | 5.5 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 80 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 290 | 290 | 山吹焼 | 小皿 | 10.7 | 3.2 | 5.6 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 80 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 291 | 291 | 山吹焼 | 小皿 | 10.1 | 3.3 | 5.9 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 80 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 292 | 292 | 山吹焼 | 小皿 | 10.7 | 3.4 | 5.5 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 95 | 内外面に自然釉。内面に平口が付する。 | |
| 293 | 293 | 山吹焼 | 小皿 | 11.1 | 3.0 | 5.5 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 95 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 294 | 294 | 山吹焼 | 小皿 | 11.6 | 3.6 | 6.0 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 100 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 295 | 295 | 山吹焼 | 小皿 | 11.7 | 3.5 | 6.0 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 肌 | 焼成率 45 | 内外面に自然釉。内面に平口が付する。 | |
| 296 | 296 | 山吹焼 | 小皿 | (9.7) | 2.5 | (5.0) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 95 | 内外面に自然釉。内面に平口が付する。 | |
| 297 | 297 | 山吹焼 | 小皿 | 10.5 | 3.7 | 5.8 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 96 | 内外面に自然釉。内面に平口が付する。 | |
| 298 | 298 | 山吹焼 | 小皿 | 10.5 | 2.7 | 5.6 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 95 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 299 | 299 | 山吹焼 | 小皿 | 10.5 | 3.2 | 6.3 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 100 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 300 | 300 | 山吹焼 | 小皿 | 10.2 | 3.6 | 6.1 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 95 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 301 | 301 | 山吹焼 | 小皿 | 10.2 | 3.3 | (5.7) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 90 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 302 | 302 | 山吹焼 | 小皿 | 11.4 | 3.6 | (5.6) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 80 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 303 | 303 | 山吹焼 | 小皿 | 11.4 | 3.6 | (5.6) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 80 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 304 | 304 | 山吹焼 | 小皿 | 10.2 | 3.3 | 5.1 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 95 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 305 | 305 | 山吹焼 | 小皿 | 10.4 | 3.8 | (4.3) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 80 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 306 | 306 | 山吹焼 | 小皿 | 9.6 | 2.6 | 5.1 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰白色 | 肌 | 焼成率 100 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 307 | 307 | 山吹焼 | 耳皿 | 直径(耳) | 無縁 | 6.4 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 60 | 底部内面にへう記号あり。 | |
| 308 | 308 | 山吹焼 | 鉢片 | (12.3) | 4.2 | (5.7) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 70 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 309 | 309 | 山吹焼 | 鉢片 | (6.2) | 3.2 | 4.4 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 75 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 310 | 310 | 山吹焼 | 鉢片 | (6.2) | 3.2 | 4.4 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 75 | 内外面に自然釉。平口が付する重む焼きの一番上の部分。 | |
| 311 | 311 | 山吹焼 | 鉢片 | (16.2) | 5.6 | 8.0 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 75 | 内外面に自然釉。重む焼きの痕あり。 | |
| 312 | 312 | 山吹焼 | 小皿 | 10.6 | 3.4 | (5.7) | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 焼成率 50 | 内外面に自然釉。内面に平口が付する。外面に磨耗あり。 | |
| 313 | 313 | 山吹焼 | 小皿 | 10.6 | 4.3 | 5.2 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 全周 90 | 内外面に自然釉。外面に平口が付する。 | |
| 314 | 314 | 山吹焼 | 小皿 | — | 4.5 | 4.8 | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 全周 80 | 内外面に自然釉。外面に平口が付する。 | |
| 315 | 315 | 山吹焼 | 鉢片 | — | — | (23.2) | 14.4 | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | 直径 100 | 内外面に自然釉。 | |
| 316 | 316 | 褐色 | 小皿 | 8.0 × 4.6 × 0.8 | | | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | | 自然焼きほなし(土質に侵襲されたと推定) | |
| 317 | 317 | 褐色 | 小皿 | 8.0 × 4.2 × 0.6 | | | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | | 自然焼きほなし(土質に侵襲されたと推定) | |
| 318 | 318 | 褐色 | 小皿 | | | | | | 良好 | 内・外・断面 | 灰色 | 肌 | | | |

図版 1



調査前全景 (南西より)



試掘東西トレンチ (西より)



試掘南北トレンチ深掘部分 (東より)



南側溝状遺構検出状況 (北より)



SD3 A-A' 断面 (西より)



SD3 B-B' 断面 (東より)



SD3 遺物出土状況 (北より)



SD3 完掘状況 (東より)



SD1・SD4 検出状況 (南より)



SD4 遺物出土状況 (西より)



SD4 完掘状況 (西より)



C-C' 断面 (東より)



E-E' 断面 (西より)



調査後全景 (北より)



調査区西面全景 (北より)



調査区東壁 (西より)

図版 3



柿田遺跡（道の駅地点）出土遺物



調査前 (南より)



作業状況 (西より)



灰原遺物出土状況 (南より)



灰原東側遺物出土状況 (南より)



灰原東側壺出土状況 (南より)

図版 5



灰原西側遺物出土状況 (南より)



灰原西側壺出土状況 (南より)



A-A' 断面中央 (南より)



E-E' 断面 (西より)



D-D' 断面 (西より)



C-C' 断面 (西より)



B-B' 断面 (西より)



調査後全景 (南より)



3



13



24



36



38



38



49



51



72



73



73



81



85



85



86



89



96



110

ほうの木古窯跡出土遺物 1

図版 7



ほうの木古窯跡出土遺物 2



ほうの木古窯跡出土遺物 3

図版 9



ほうの木古窯跡出土遺物 4



ほうの木古窯跡出土遺物 5

報告書抄録

| | | | | | | | |
|-----------------|-----------------------------|-------------|-------|----------------------|--------------------|--|----------------|
| ふりがな | かきだいせき (みちのえきちてん)・ほうのきこようあと | | | | | | |
| 書名 | 柿田遺跡 (道の駅地点)・ほうの木古窯跡 | | | | | | |
| 副書名 | 市開発事業に伴う発掘調査報告書 | | | | | | |
| シリーズ名 | 可見市埋文調査報告 | | | | | | |
| シリーズ番号 | 45 | | | | | | |
| 編集者名 | 長江 真和 | | | | | | |
| 編集機関 | 可見市教育委員会 | | | | | | |
| 所在地 | 〒 509-0292 岐阜県可見市広見一丁目1番地 | | | | | | |
| 発行年月日 | 西暦 2014年3月10日 | | | | | | |
| ふりがな | ふりがな | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 面積 | 調査原因 |
| 所収遺跡名 | 所在地名 | 市町村 | 遺跡番号 | | | | |
| ほうの木古窯跡 | 岐阜県可見市室原 ほうの木573、574-2 | 21214 | 11358 | 35° 23' 15" | 137° 01' 50" | 20090608 ~ 20090702 138 m ² | 溜池の護岸 補修 |
| 柿田遺跡 | 岐阜県可見市柿田 416番地1外 | 21214 | 8846 | 35° 27' 48" | 137° 05' 55" | 20090706 ~ 20090918 735 m ² | 「道の駅」 施設の建設 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | | 特記事項 | |
| ほうの木古窯跡 | 生産遺跡 | 平安時代 | 物原 | 山茶碗 | | | |
| 柿田遺跡 (道の駅地点) | 集落跡 | 古墳～ 江戸時代 | 流路跡 | 須恵器、土師器、山茶 碗、近世陶器 | | | |

可見市埋文報告 45

柿田遺跡 (道の駅地点)・ほうの木古窯跡

平成 26年3月10日 印刷

平成 26年3月10日 発行

編集・発行 可見市教育委員会
〒 509-0292 岐阜県可見市広見一丁目1番地
Tel 0574-62-1111 Fax 0574-63-6751
印刷 丸理印刷株式会社

